

ギャンブル問題の当事者や家族への 民間団体・自助活動の紹介の冊子



研究課題名

ギャンブル障害の当事者や家族に対する自助グループや
民間支援団体の実態に関する研究 第二版

実施責任者

筑波大学医学医療系・准教授 森田展彰

目次

I. はじめに	3
II. 用語解説	4
III. アノニマスグループの紹介	
1. アノニマスグループとは	5
2. GA (ギャンブラーズ・アノニマス)	6
3. GAM-ANON (ギャマノン)	9
4. 本研究での GA 及びギャマノン利用者のグループインタビューの結果	12
IV. 民間団体の紹介	
1. 民間団体一覧	16
2. アンケート結果	18
3. 各民間団体の紹介 (46 団体)	22
4. 全国の精神保健福祉センター	67
V. おわりに	69



本冊子は、厚生労働科学研究費補助金（障害者政策総合研究事業）「ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究（19GC1016）」の成果の一部として、我が国における自助グループや民間支援団体の実態や支援の状況をまとめたものです。昨年度に第1版を作成して配布させていただいたところ、さらに各地の団体より活動に関する情報をいただき第2版を作成しました。

2018年に「ギャンブル等依存症対策基本法」が成立・発布され、ギャンブル等依存症の発症・進行・再発の各段階に応じた防止・回復のための対策を適切に講ずるとともに、関連する問題への対応を進め、本人・家族が日常生活・社会生活を円滑に営むことができるように支援する方針が示されています。また、この法律に基づいた「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」では、依存症そのものの防止や回復のみでなく、関連する問題（多重債務・貧困・虐待・自殺・犯罪等）や家族への支援を含む総合的な対応が重視されています。その中には、関係機関との連携を含む地域での包括的な支援体制や、ギャンブルの広告宣伝や依存症への予防教育など社会的な啓もうも含まれており、自助グループや民間団体に期待される役割やその支援についても触れられています。

自助グループや民間団体は、医療や行政では手の届きにくい事例に応じた相談や、「生き方をみなおす」という包括的な視点から、当事者や家族の回復を長期的に支えていく重要な役割があると思います。実際、本冊子を作成するにあたり、各グループや団体が、各地域の実情にあった多様な活動が展開され、素晴らしい成果を上げていること確認しました。世界的にギャンブル障害の当事者・家族の回復の柱となっているGAやギャマノンが、日本でも大きな役割を果たしていることも確認されました。しかし、地域での社会資源は大きな偏りがあることや、包括的な地域連携の体制はこれからであるとも感じました。本冊子をもとに、日本全体でどのような団体があり、どのような支援や活動をおこなっているかについて知ることで、互いにつながりをもったり、また公的な機関との連携が広がることを願っています。

2022年2月
筑波大学医学医療系 厚生労働科学研究費補助金
（障害者政策総合研究事業）
「ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究」

研究分担者 森田展彰

II 用語解説

本冊子で用いられた用語について解説します。

ギャンブル依存症

ギャンブルをすることが生活の中心となり、ギャンブルをやめたくてもやめられない状態になること。多くのギャンブル依存症者が金銭的な問題を抱える。

セルフヘルプグループ

同じ病気や悩みを持つ人同士が支え合って活動しているグループ。

共依存

依存症者に必要とされることに存在価値を見だし、ともに依存を維持している周囲の人の行為。例えば、イライラしている人のご機嫌を取ったりお世話をすること。

イネイブリング (enabling)

依存症者が依存を続けることを周囲の人が可能な状態にしてしまうことをいう。例えば、ギャンブルが原因の借金の尻拭い（代わりに借金を肩代わりすること）や、万引きなどの後始末、ギャンブルで問題を抱えていることを他の人に知られないようにする事など

12 ステッププログラム (プログラムまたはステップ)

依存症からの回復を目指すために提案された12の段階を一つ一つ進めるプログラムである。スポンサーとスポンシーがマンツーマンで進めていくものである。

スポンサー、スポンシー

12ステッププログラムを先に終了した人をスポンサー、これからプログラムに取り組もうとしている人をスポンシーという。

底つき体験

依存症者または家族が「もうこのままではどうにもできない。このままではだめだ」という心情になる体験。依存症の回復には底つき体験が必要であると言われてい

アノニマス

匿名性・無名性を意味し、参加者が実名や職業などを明かされないため、プライバシーが守られる。アノニマスグループは、これを基本として、お互いを呼んで欲しい名前（ニックネームのようなもの）で呼び合う。



Ⅲ アノニマスグループの紹介

1 アノニマスグループとは

日本には様々な自助グループが存在します。例えば、がん患者同志のグループや自死遺族のグループ、認知症家族のグループなど、何らかの共通項が参加の条件になっており、同じ悩みや似たような問題を抱えた人同士が経験や感情を語り合い、共感し、支え合える場となっています。

自助グループの歴史を遡ると、アルコール依存症の自助グループであるAA（アルコールクス・アノニマス）が起源となっています。アノニマス（anonymous）とは、匿名性・無名性を意味し、参加者が実名や職業などを明かされないため、プライバシーが守られます。アノニマスグループは、そういった匿名を基本として、お互いを呼んで欲しい名前（ニックネームのようなもの）で呼び合います。

アノニマスグループは自助グループの中でも、特に依存症やそのご家族といった方々が、「言いつばなし・聞きつばなし」のミーティングによって苦しみや悩みや経験分かち合うことによって、心の傷を癒したり、同じ経験をした人からの生の体験を聞くことができます。そして、将来への希望を見出していくことができます。また、参加するために予約や会費は必要ではありません。ミーティングで聞いた話はミーティング会場内だけに留めるようお互いが守っており、安心できる空間の中で自分の心の内を語ることができます。

アノニマスグループの多くが12ステッププログラム（通称ステップ）という回復のための12の提案を仲間から受け、生きづらさからの回復を目指しています。

ギャンブル依存症に対してもアノニマスグループの自助グループが存在し、ギャンブル依存症当事者の方のためのGA（ギャンブラーズ・アノニマス）やギャンブル依存症の方の家族や友人の方のためのギャマノンが知られています。



2 GA（ギャンブラーズ・アノニマス）

GAは、ギャンブルに問題がある方のための自助グループです。2022年1月現在全国に188グループ存在し、その中には、女性だけが参加するグループや当事者以外にも参加できるオープンミーティングを開催している場合もあります。（北海道・東北地区22グループ、関東地区60グループ、東海中部・北信越地区22グループ、近畿地区25グループ、中国・四国地区18グループ、九州地区41グループ）

GAでは定期的にミーティングを開催しています。そこでは、ギャンブルの問題をもつ当事者の方によるギャンブルが原因で起こった様々な問題や、苦しみなどの体験談が話されます。仲間の話を聞き、自分の話を聞く事ができます。仲間の話を聞き、自分の話を聞くまた、ギャンブルの問題に苦しんでいる方ご自身のことで、一日一日ギャンブルをやらない日を積み重ねていく力を得ています。

GAに参加するには、予約や会費などは必要ではなく、性別や年齢の制限もありません。一度参加したからといってずっと参加する義務もありません。必要な時に必要な会場に参加すれば良いと言われています。

ギャンブル依存症者の方は、ギャンブルが原因で、経済的な問題や、人間関係や仕事の悩みを抱えている事が多いと言われています。ギャンブルをやめようと思っても止める事ができず、自身のギャンブルをコントロールする事ができなくなってしまいます。

GAでは、ミーティングに参加することの他に、12ステッププログラムを回復のツールとして用いることが提案されています。完治することはない進行性の病と考えられているギャンブル依存症ですが、再びギャンブルをしないために、12ステッププログラムを用いて自らの生きづらさに向き合う事が大切であり、そのためにも同じ病気を持つ仲間とともに行うミーティングが重要であると言われています。



GA日本インフォメーションセンターJIC

〒242-0017

神奈川県大和市大和東3-14-6 KNハウス101

TEL：046-240-7279

FAX：050-3737-8704

※電話対応は

毎月最終週の日曜日 11：00～15：00 です

gajapan@rj9.so-net.ne.jp

<http://www.gajapan.jp/>



GAのこれまでのあゆみ

1989年	2月横浜アクションフォーラムにて呼びかけを行い、横浜で第一回目のミーティングを開催 (その後、原宿にて定期的にミーティングを開催することとなる) 原宿グループ誕生
1991年	名古屋グループ誕生
1992年	仙台グループ誕生
1994年	大阪グループ誕生
1995年	北九州グループ誕生
1997年	横浜グループ、札幌グループ、福岡グループ、高知グループ誕生
1999年	熊本グループ、沖縄かいグループ誕生
2000年	郡山グループ、京都グループ、メトロポリタングループ、中野グループ誕生
2001年	下関グループ、保土ヶ谷グループ、町田グループ、札幌すずらんグループ誕生
2002年	横浜ドルフィングループ、沖縄南風グループ、福井グループ、栃木グループ誕生
2003年	王子グループ、長野グループ、宇部グループ、大阪天満グループ誕生
2004年	長岡グループ、田園川崎グループなど8グループ誕生
2005年	大分グループ、浦賀グループ、池田コンティニューグループ、武蔵野東上グループ誕生
2006年	湘南グループ、福山グループなど17グループ誕生
2007年	都城グループ、河内松原グループなど10グループ誕生
2008年	八幡西グループ、瀬谷グループなど12グループ誕生
2009年	水戸グループ、釧路西グループなど26グループ誕生
2010年	徳島グループ、富山グループなど18グループ誕生
2011年	静岡グループ、ピリカグループなど7グループ誕生
2012年	相模原グループ、諏訪グループなど17グループ誕生
2013年	アリアドネ宗像グループ、浦和グループなど16グループ誕生
2014年	長崎ウェイクアップグループ、京都東山グループなど8グループ誕生



※ GA日本の発足から2014年までの情報はGAのホームページ (<http://www.gajapan.jp/index.html>) より抜粋させていただきました。
これ以降の詳細については一般への公表はしていません。
またこの間、GAで用いる書籍の発行や発足集会などが定期的に行われています。

都道府県	グループ名
北海道	オホーツク北見、釧路ぬさまい、帯広、浦賀、千歳、札幌もいわ、札幌北1条、札幌すずらん、苫小牧、小樽雪灯り、室蘭、はこだて
青森県	青森
岩手県	盛岡
宮城県	仙台、みやぎ
秋田県	広面
山形県	山形
福島県	ふくしま、郡山、会津、白河
茨城県	ふらっと水戸、土浦
栃木県	栃木、宇都宮
群馬県	まえばし、いせさき、たかさき
埼玉県	大宮、武蔵浦和、武蔵野東上、かわぐち、春日部
千葉県	そが、Costa 稲毛、かしま、ちば八千代、ステップ津田沼、トリムタブ船橋、まつど、ちば、行徳、かずさ
東京都	王子、江戸川、北千住、メトロポリタン、東京中央、キーストン青山、新宿、高田馬場、原宿、中野、都南池上、三鷹、西東京 STEP、昭島、町田、東京女性(府中)、西新宿、池袋
神奈川県	かわさき、登戸、フリーダム、京浜、横浜、みなと、ほどがや、新杉田、あさひ、横浜ベイサイド、上倉田、相模原、相模原オープンウェイ、やまと、大船、神奈川女性(横浜)(星川)、横浜リバーサイド
新潟県	長岡、新発田、新潟、新潟八千代
富山県	TURUGI
石川県	野々市
福井県	福井、未来福井、福井勝山
山梨県	BRAVE 山梨、山梨武田、甲府、山梨 Unity、韮崎、南アルプス
長野県	飯田、信州上田、松本、長野
岐阜県	鶯沼、岐阜
静岡県	東海、静岡、富士、遠州
愛知県	名古屋、名古屋めぐみ、栄、西尾張ひかり
三重県	三重 New Life
滋賀県	東近江、大津
京都府	京都、伏見アムール、乙訓
大阪府	豊中、大阪、鶴橋、大阪オアシス、東住吉、ビリーブ東大阪、寺田町オーシャン
兵庫県	川西、三田、西宮、芦屋、神戸元町フレンドリー、神戸、新明石、姫路
奈良県	奈良コンパス、橿原、Sunny 大和高田、サニタス
和歌山県	和歌山なごみ、和歌山有田みかん、和歌山紀南、和歌山新宮くまの、和歌山岩出ねごろ
鳥取県	米子
島根県	益田
岡山県	岡山、倉敷
広島県	福山、東広島、広島、ゆめ西広島、呉
山口県	山口、宇部、下関、岩国
徳島県	徳島
香川県	ハッピー高松
愛媛県	松山、大洲、宇和島
高知県	高知、土佐上町ピア
福岡県	なかま、苅田、北九州、小倉、北九州クレーン、戸畑、八幡西、クロサキ、アリアドネ宗像、いづか、オネスティ千早、吉塚、博多、福岡、福岡南、福岡中央、福岡あかつき、グローアップ、二日市、ちくし、久留米、大牟田
佐賀県	佐賀、唐津
長崎県	佐世保、諫早、長崎 EAST, 長崎トゥギャザー、長崎ウェイクアップ、出島
熊本県	熊本
大分県	大分東きずな、大分、なかつ大分
宮崎県	宮崎
鹿児島県	鹿児島まなざし、薩摩、鹿児島、霧島
沖縄県	宜野湾、ていーだ、Free Place 沖縄、Re:Life 沖縄

3 GAM-ANON (ギャマノン)

ギャマノンはギャンブルの問題の影響を受けた家族・友人のための自助グループです。同じ立場の人たちが集まって定期的にミーティングを行っています。2022年1月現在全国に211グループ(会場含む)存在します。(北海道地区7、東北地区16、北陸・甲信越27、北関東16、埼玉9、千葉13、東京26、神奈川12、東海12、関西18、大阪13、中国・四国16、九州・沖縄26)

ミーティングでは、同じ悩みや苦しみを抱えてきた仲間たちが、自分の正直な話をし、周りの仲間たちは心を開いて耳を傾けます。誰にも言えなかったことが話せる場であり、話が遮られる事や、意見を言われたり、批判されることはありません。「言いつばなし、聞きつばなし」の分かち合う時間を共有することで、困難に対処する力と希望を得る事ができます。

ギャマノンに参加するために、事前連絡や予約は必要ありません。直接会場へ行けば、仲間が歓迎してくれます。参加にあたっての料金も必要ではありませんが、ギャマノンは外部からの寄付を受けておらず、自分たち自身でグループを維持しているためお気持ち程度の献金をお願いしています。

メンバーの中には子育て中の方もいますが保育付きでミーティングを開催していたり、オープンミーティングと言って、ギャンブルの影響を受けた家族や友人以外でも参加できるミーティングを開催しているところもあります。そこは、ギャンブル依存症当事者の方や、ギャマノンに関心のある方も参加する事ができます。

ギャマノンもGAと同じように、ミーティングに参加する事以外に、12ステッププログラムが回復のツールとして紹介されています。ギャンブルが原因の様々な問題に対処したり、ギャンブル依存症当事者の方との関係性を改善する提案がなされることによって、生きづらさに向き合う事ができるようになります。

※ギャマノンとGAは、ギャンブル依存症に関連のある団体ですが、それぞれ独立しています。合同でセミナーを開催することもあります。お互いが自立しており、それぞれで語られる内容が漏れることはありません。

● 一般社団法人ギャマノン日本サービスオフィス

〒170-0013
東京都豊島区東池袋 2-62-8
BIG オフィスプラザ池袋 501号
電話：03-6659-4879
(毎週月・木 10:00-12:00)
<http://www.gam-anon.jp/>



ギャマノン日本のこれまでのあゆみ

- 1989年 11/19 第1回GAミーティング(原宿相談室)
(当初はギャンプラーと家族と一緒にミーティングを行っていた。)
- 1991年 10/13 第1回ギャマノンミーティング:八幡山グループ
(八幡山AKK事務所で月1回から始め1992年12月からは月2回、1995年6月からは毎週となる。会場を転々とした時期もあった)
- 1993年 名古屋竹の子グループ誕生
- 1995年 『回復の12ステップ』、『ギャマノン流の生き方』『幸せな一日のためのいくつかのヒント』発刊
駒場グループ、大阪グループ誕生
- 1996年 福岡グループ誕生
- 1998年 仙台グループ、横浜グループ誕生
- 1999年 北九州グループ誕生
- 2001年 1/20 第1回ギャマノンの集い開催(中部総合精神保健福祉センター:50名参加)
7/1 『否認という名の回転木馬』発刊。
5グループ誕生:大阪池田コスモス、とちぎ、瀬谷、郡山、福井
- 2003年 3グループ誕生:沖縄結、麻布、新潟
- 2004年 ギャマノン通信第1号発行。
2グループ誕生:大分、札幌
- 2005年 体験談集No.1発行 ホームページ開設
7グループ誕生:浅草、いわき、沖縄南、国立、高松、諏訪、さいたま
- 2006年 6グループ誕生:船橋、朝霞台、沖縄ゆうな、あざみ野、土浦、名古屋ひだまり
- 2007年 事務所を開設(池袋)
9グループ誕生:松江、戸塚、さいたま新都心、鶴橋、練馬、神戸船橋第二、九段下、西千葉
- 2008年 体験談集No.2発行
14グループ誕生:福島、阿倍野、広島、水戸、なのはな、八王子、旭川、札幌ライラック、八幡西、伊勢天照、札幌あすなる、滝川、長岡、鹿児島
- 2009年 12グループ誕生:滋賀びわこ、前橋、東広島、みなと横浜、静岡下呂白草、登戸、東京ステップ、佐倉、山形、宇都宮スマイル、富山
- 2010年 一般社団法人ギャマノン日本サービスオフィス設立
23グループ誕生:高田馬場、湘南藤沢、真駒内ナチュラル、四日市、岐阜、熊本、新鎌ヶ谷、北千住、ちくし、豊中さくら 奈良、甲府、大手町、蘇我、浦安、つくば、塩尻、狭山 東松山オアシス、高知、GMかたくり、三田、春日井ときわ樹
- 2011年 14グループ誕生:高津、高崎こぼと、長崎、奈良わかかさ、宮崎、調布 郡山ステップ、桜木町、たんぼぼ、のぞみ、川西、釧路、葛西、所沢
- 2012年 10グループ誕生:赤羽、春日部、淀川、生駒、松本、中野、津田沼、会津若松、相模原、はんなり
- 2013年 『ギャマノン流の生き方』発刊
5グループ誕生:佐賀、新発田、郡山火曜、亀田、青森
- 2014年 9グループ誕生:大野城、久留米、石川どんぐり、取手、岸和田、松戸、川越ステップ、姫路、米沢
- 2015年 10グループ誕生:四谷、ホープ京橋、尼崎、松山、船橋ステップ、ウイズダム開成(郡山火曜から変更)、小山、赤塚ステップ、石巻、上越
- 2016年 『回復の12ステップ&手引きとなる質問』発刊。
17グループ誕生:盛岡、ウイズダム錦糸町、万葉まほろば、天満橋 長野、茅場町ステップ、藤井寺、陽だまり諫早、宇都宮ステップ、堺、唐津、新町クローバー、水辺の森、品川、帯広、柏、千葉
- 2017年 『広報活動のためのハンドブック』発刊。
12グループ誕生:伊那、国分寺、仙台第二、和歌山、パワフル明石、南大田、佐世保結、呉、なごみ西宮、新潟西、カラフル★あかし、奈良王寺
- 2018年 20グループ誕生(名古屋あかつき、高槻、AI芦屋、那須、あじさい福井、さが・ひまわり、札幌ナチュラル、堀之内->小出、山口、尾道、福島ハピネス、西船ステップ、柏崎、アルプス豊中、ちゅら、函館、行徳ステップ、銀座、長野南、柏ステップナイト)
- 2019年 伊那Gが南信州Gへ変更(隔週開催から毎週開催になり、会場を移動したため)
13グループ誕生(ミラクル大久保、三条、前橋こぼと、はちのへ、岡山 桃太郎、武雄・大楠、いせさきレインボー、新宿、甲斐ステップ、飯能天覧山、えどがわ、むらかみ、松本南)
- 2020年 12グループ誕生(北くまもと、別府@は一もにあかふえ、吉祥寺、アップルロード飯田、神楽坂、六日町、青森、松戸南ステップ、セレンティ新小岩、浦和ステップ、大阪空港ステップ、相模大野ステップ)
- 2021年 12グループ誕生(米子、出雲、敦賀、西岐阜ゆかり、京都枚方、金沢ひばり、柳川ステップ、宝塚すみれ、和歌山みなみ、品川グループ本八幡ステップ会場、溝の口、津山)
- 2022年 久留米アザレア、倉敷、弘前、名古屋あかつきグループ三河ステップ会場



またこの間、ギャマノンで用いる書籍の発行や発足集会などが定期的に行われています。

全国のギャマノングループ (2022年1月現在)

都道府県	グループ名
北海道	札幌あすなろ、札幌ライラック、札幌ナチュラル、滝川、旭川、釧路、帯広、函館
青森県	はちのへ、弘前、青森
岩手県	盛岡
宮城県	仙台、仙台泉、石巻
秋田県	
山形県	山形、米沢
福島県	福島、郡山、郡山ステップ、ウイズダム開成、いわき、会津若松、福島ハピネス
茨城県	水戸、土浦、つくばステップ、取手、赤塚ステップ (赤塚会場)、(ひたち会場)
栃木県	とちぎ、宇都宮ステップ、那須、小山
群馬県	前橋、高崎こぼと、前橋こぼと、高崎新町クローバー、いせさきレインボー
埼玉県	さいたま、さいたま新都心、朝霞台、なのはな、川越ステップ、狭山、春日部、飯能天覧山、浦和ステップ
千葉県	浦安、船橋1、船橋2、西千葉、蘇我、佐倉、松戸、松戸南ステップ、柏、柏ステップナイト、千葉、西船ステップ、行徳ステップ
東京都	北千住、東京ステップ、銀座、ウイズダム錦糸町、大手町、九段下、四谷、三田、麻布、駒場、高田馬場、中野、赤羽、練馬、葛西、えどがわ、調布、新宿、国立、茅場町ステップ、品川 (品川会場) (蒲田ステップ) (本八幡ステップ)、国分寺、吉祥寺、セレンティ新小岩
神奈川県	横浜、みなと横浜、瀬谷、戸塚、あざみ野、登戸、高津、湘南藤沢、相模原、南太田、溝の口、相模大野ステップ
新潟県	むらかみ、新発田、新潟、亀田、新潟西、長岡、上越、小出、六日町
富山県	富山 (黒瀬会場) (蜷川会場)
石川県	たんぼぼ、石川どんぐり、金沢ひばり
福井県	福井、あじさい福井、敦賀
山梨県	甲府 (甲府会場) (ふじさん会場)、甲斐ステップ
長野県	諏訪、松本、松本南、長野、長野南、アップルロード飯田
岐阜県	下呂白草、岐阜、西岐阜ゆかり
静岡県	静岡
愛知県	春日井ときわ樹、名古屋竹の子、名古屋ひだまり、名古屋あかつき (名古屋会場) (三河ステップ会場)
三重県	伊勢天照、四日市
滋賀県	滋賀びわこ
京都府	京都はんなり
大阪府	大阪、天満橋、鶴橋、大阪池田コスモス、豊中さくら、アルプス豊中、天王寺、岸和田、ホープ京橋、藤井寺、堺、高槻、大阪空港ステップ、京阪枚方
兵庫県	川西、なごみ西宮、神戸、パワフル明石、姫路、尼崎、AI芦屋、ミラクル大久保、宝塚すみれ
奈良県	奈良わかかさ、のぞみ、生駒、万葉まほろば、奈良王寺
和歌山県	和歌山
鳥取県	米子
島根県	松江
岡山県	岡山桃太郎
広島県	広島、東広島、呉、尾道
山口県	山口
徳島県	
香川県	高松
愛媛県	松山
高知県	高知
福岡県	八幡西、福岡、大野城、ちくし、久留米、久留米アザレア、柳川ステップ
佐賀県	ギ佐賀、さが・ひまわり、唐津、武雄・大楠、小城
長崎県	長崎 (桜木会場) (出島会場)、水辺の森、陽だまり諫早、佐世保結
熊本県	熊本、北くまもと
大分県	大分、別府@は一もにあかふえ
宮崎県	宮崎
鹿児島県	鹿児島 (鹿児島会場) (薩摩川内会場)
沖縄県	沖縄ゆうな、ちゅら

4 本研究での GA およびギャンノン利用者のグループインタビューの結果

GA の 分 析

GA に継続的に参加している 11 名（東京、千葉、名古屋、愛知、長野、奈良、大阪、兵庫、岡山、香川、福岡、鹿児島）の GA に参加）に、グループインタビューを行い、これまでのギャンブルでのご苦労の経験や、参加に至った経緯、今感じていることなどを話してもらいました。この内容を質的に分析したものが以下ようになります。

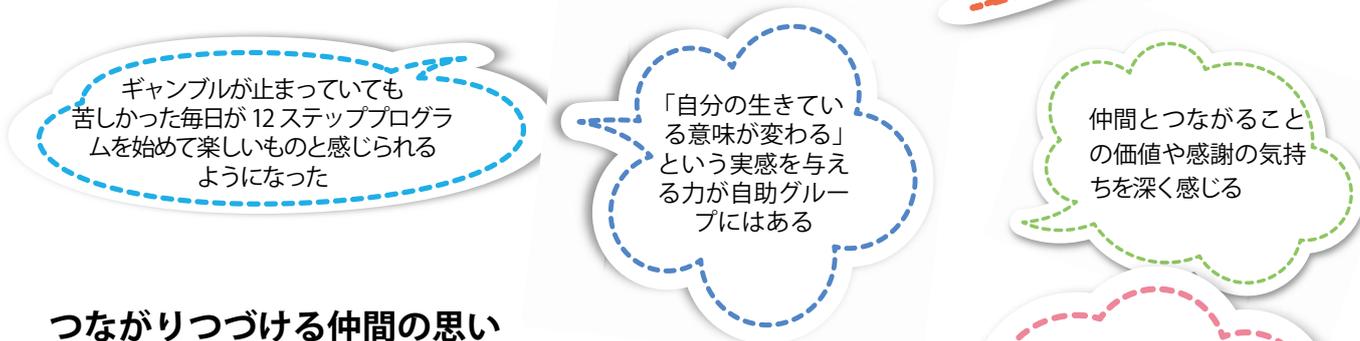
カテゴリー	サブカテゴリー
自助グループにつながる以前の苦労	借金等の底つきの状態であった。 家族のアディクション問題や逆境的体験で苦しく、それがギャンブルにのめり込むことにつながった。 依存症は病気だということを知らなかったので、ひどくなってしまった。 横領など犯罪をおこなってしまった。 家族の死などの底つきがあった。
自助グループへのつながる経緯	つながることへの抵抗や否認は最初あったし、続くこともある。 家族や生活を失いたくなくて、行き始めた。 家族の頼みや紹介で行くようになった。 精神科からのつながり・紹介で行った。 民間団体の勧めで行くようになった。 新聞記事から知った。 書籍をみて行くようになった。 やめるすが他にわからなかったのでつながった。 家族もグループへいってそれがきっかけになった。
自助グループの有効性ややりがい	自助グループで依存症に対する正しい知識を知ることができた。 同じ体験の仲間がいる居場所を見つけた。 本音で話せ、自分に正直になることができる。 仲間とのつながりや愛情を感じる。 危ない時に助けてもらえる場所である。 自分の限界と人とのつながりや感謝を感じられる。 家族などとのつながりの回復ができる。 他の仲間や社会にメッセージを伝えていくことの使命感を感じる。 相手の話を聞くことを覚えた。 ギャンブルを止めてからの苦しさが消された。 12 ステップは生き方を変えてくれた（人生を楽しく感じられるようになった）。
自助グループの様々な側面	GA に行くのが基本であり、12 ステッププログラムはその効果を補強する力を持つ。 12 ステップやるかどうかはひとによりけりである。 自助グループが少ない地域では、自助グループを立ち上げる必要があった。 長年通い続けることに意味がある。すぐには効果感じない場合があり、繰り返して良さがわかる。 専門家の入るグループを自助グループと区別していない人がいるが異なる。専門家が入るグループは正直になりにくい。
関連機関や社会に自助グループを理解してもらいたい	医療と自助グループの併用。 医療での自助グループを知り、正しく紹介してほしい。医療によるばらつきが大きい。 社会に対して自助グループの役割を理解してほしい。 自助グループと専門家の入るグループが区別されていないことがある。 精神保健福祉センターなどとの連携を進められていることや難しいことの両方がある。 日本は偏見が強く、セカンドチャンスが認められにくい。 一回行けばいいということではなく続けることが重要だということを知ってほしい。 地方での自助グループの不足。地域での支援体制が十分でない。

GA につながる前

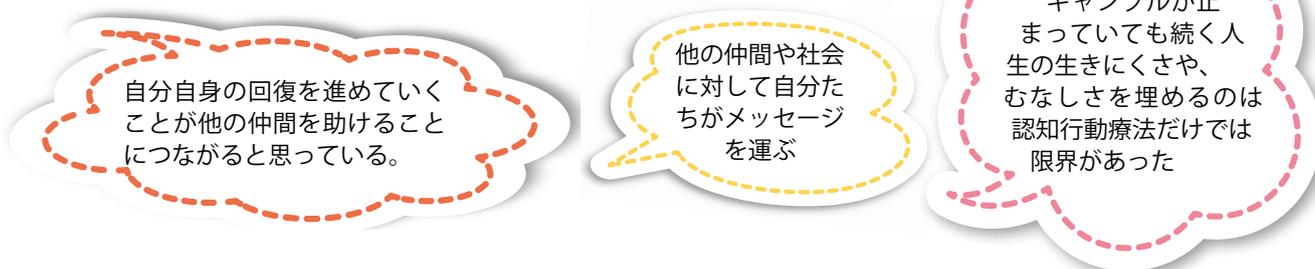
自己否定や問題の否認



GA につながって感じること



つながりつづける仲間の思い



この結果から、ギャンブル障害のある人は「ダメな人間だ」と自己否定したり、逆に「自分は別に大丈夫なんだ」と問題の否認を行い、なかなか自分が困っていることを相談できない場合が多く、そんな状況の中で、自助グループは、当事者にとって同じ立場の人がいて、うまくいっていないことでも受け止めてもらえる体験ができる場所として大きな意味を持っていることがわかりました。また、GA につながることで、自己中心的な考えに陥っていた自分を改めて、仲間とつながることの価値や感謝の気持ちを深く感じるようになり、単にギャンブルを止めているというだけでなく自分や生き方が変わったということが実感を含めて語られていました。

さらに、ミーティングに通うことに加えて、12ステッププログラムを行うことで、大きな変化を実感していました。プログラムは全員が行うわけではありませんが、このプログラムを行うことで、ギャンブルが止まっても苦しくて仕方がないと感じていた毎日が楽しいものと感じられるようになったということでした。そしてそうした感じ方の変化は、他の仲間や社会に対して自分たちがメッセージを運ぶという視点が持てるようになることで、「ダメな自分」という考えから一歩出て、他者や社会に心を開くことができるようになることが良い影響を与えるという相乗効果をもたらしていました。更に、自分自身の回復を進めていくことが他の仲間を助けることにもつながっていることを実感する中で自分の価値を感じられるようになっていました。

近年、ギャンブル障害への認知行動療法などの心理療法が出てきていますが、これらは、まずギャンブルをどうやめるかということには力を発揮することが期待されますが、やめた後の生きにくさやむなしさを埋めていくことや、自分の人生を肯定的にとらえるためには、認知行動療法のみでは難しい場合があると思われます。「自分の生きている意味が変わる」という実感を与える力がある自助グループは、やはりギャンブル障害の支援になくてはならないものであるということが今回の結果から確かめられました。

ギャンボンの分析

2019年に自助グループを利用し、民間団体での活動をしているギャンボ依存症のご家族の方にグループインタビューを行い、参加に至った経緯や、自助グループ等での経験や困難、社会に伝えたいことなどを話してもらいました。この内容を質的に分析したものが以下ようになります。

カテゴリー	サブカテゴリー
ギャンボ依存症の症状に翻弄された経験からギャンボ依存症を知り、地域リソースによりギャンボを知る	「ギャンボ依存症の症状に巻き込まれた経験」「インターネットでギャンボ依存症とギャンボを知る」「消費生活センター等から、ギャンボを知る」「院内家族会からAC自助グループに行く」「民間団体に電話相談をしてギャンボを紹介された」「GAの仲間からの紹介」「病院で家族の会を勧められた」など
家族自身、支援側の自助グループにつながる抵抗要因	「自助グループを紹介してくれなかった」「ギャンボに問題があることを教えてもらえなかった」「依存症を重く受け止めていなかった」「必要性を感じない時期」など
自助グループで得られる共感と依存症の学び	「自助グループで仲間に助けられた体験」 「依存症とその対応を学ぶ」
共依存的生き方の内省と行動変容	「共依存の自覚」「ギャンボ以外での生きづらさの自覚」「自己の内省」「家族の12ステッププログラムへの取り組みと行動変容」「その後の家族自身の経過」
家族の変化による当事者のその後	「家族の変化による当事者のその後」
家族支援に対する知識不足と統一されない支援	「行政・医療のギャンボ、家族支援に対する知識不足と偏見」「依存対象による対応の差」「専門家による異なる支援方法」「ハームリダクションの考え方の広まり」
関係機関の連携不足とその影響	「ギャンボは医療、行政、司法が関係」「行政と医療の連携がない」「民間団体、自助グループとの協力関係がない」「地域、医療、行政の縄張り意識」「支援の囲い込み」
人的要因による家族支援の固定化	「担当者の異動と地域資源との癒着」「広域自治体へのアプローチが難しい」など
望ましくない家族支援による影響	「誤った対応方法による家族の苦しみ」「柔軟な対応が困難な行政による家族支援の現状」
支援者が家族支援を理解していた	「医療が家族を家族会に紹介する好事例」「理解のある支援者の存在による依存症対策の充実」
民間団体への経済的支援	「活動資金がないと活動ができない」「活動資金のある地域」「助成金のない地域」
家族支援の窓口の民間団体と市町村、県への協力関係の広がり	「家族支援の窓口が家族会になると良い」「市町村レベルの方が協力的」「県を巻き込んでいくこと」「地方議員に協力してもらう」「支援に協力的な行政から広域に広げる可能性」
家族が望むギャンボ依存症対策	「家族がギャンボにつながることに伴う本人への利益を行政、医療が伝えることの大切さ」「家族が望む家族支援」「SBIRTSをギャンボに適用してほしい」
民間団体の今後の展望	「自助グループ支援」「家族からの情報発信の可能性」

ギャマノンにつながるきっかけ

医療機関、行政、
消費者相談等
からの後押し

「GA の仲間からの紹介」
「病院で家族の会を
勧められた」

担当者の誤った対応や、連携不足は
家族が長期にわたって苦しむ要因

共依存の自覚。
ギャンブル以外での
生きづらさの自覚

ギャマノンに参加した家族

12ステッププログラムを進
めていく中で、自分自身を
深く見つめ行動が変わる

ギャンブル依存症の
知識、対応を経験し
てきた仲間から学ぶ

家族支援の仕組みが
まだまだ少ない。
依存症への理解が
少ない。



家族が望むギャンブル依存症対策は
家族がギャマノンにつながることの
大切さを行政、医療が伝えること

民間団体への活動に参加している家族の思い

医療・行政・民間の連携

SBIRTS を
ギャンブルに
適応してほしい

この結果より、ギャマノンにつながるきっかけとして、医療機関、行政、消費者相談等からの勧めや後押しがあったことがきっかけとなっている場合もあれば、逆に、担当者の誤った対応や、連携不足などから家族がさらに長期にわたってギャンブル依存症に苦しむことになることもわかりました。

またギャマノンに参加する中で、ギャンブル依存症の知識を得たり、対応の方法を事細かに経験してきた仲間たちに聞くことができることで当事者へ良い影響もあるようです。さらに、ギャマノンに参加し、12ステッププログラムを進めていく中で、自分自身を深く見つめ、共依存的性質への取り組みをしていっていることも見えてきました。

民間団体への活動に参加している家族の思いとしても、家族支援がまだまだ少ないことや、依存症対応への理解の無さ、医療・行政・民間の連携がなされない事など様々な課題が明らかになってきました。

IV 民間団体の紹介

1 民間団体一覧

団体名	掲載ページ	ギャンブル依存症の支援が中心	依存症全般の当事者支援	依存症の家族支援	その他
特定非営利活動法人 札幌マック	22		○		
カトリア会 自助グループ	23	○		○	
社会福祉法人 青十字サマリヤ会	24		○	○	アルコール依存症の支援
NPO 法人 コミファ・依存症家族の会	25			○	
特定非営利活動法人 栃木 DARC	26		○	○	
公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会	27	○		○	
一般社団法人 グレイス・ロード 東京センター	28	○		○	
NPO 法人 全国ギャンブル依存症家族の会	29	○		○	
サポートセンターオ'ハナ	30		○	○	女性の当事者支援
RD デイケアセンター	31		○		
一般社団法人 ブルースター横浜	32	○		○	
特定非営利活動法人 RDP RDP 横浜	33		○	○	アルコール依存症が中心
アルク翁	34		○		アルコール依存症が中心
NPO 法人 横浜ダルク・ケア・センター	35		○	○	薬物依存症が中心
特定非営利活動法人 横浜マック	36		○	○	アルコール依存症が中心
NPO 法人ギャンブル依存ファミリーセンター ホープヒル	37	○		○	
非営利活動法人ヌジュミ	38	○	○	○	女性の当事者支援
NPO 法人ワンデーポート	39	○		○	
特定非営利活動法人あんだんて 女性サポートセンター Indah	40		○	○	女性の当事者支援
K-GAP ハウス(かわさきギャンブラーズアディクションポート)	41	○		○	
一般社団法人 Nesting 自立訓練(生活訓練)事業所ケーギャップ	42	○			
一般社団法人 相模原ダルク	43		○	○	アルコール・薬物依存症が中心
一般社団法人 グレイス・ロード	44	○		○	行政・医療・司法からの相談受入可
株式会社鏡心(旧:一般社団法人セルフリカバリー)	45		○	○	
特定非営利活動法人 岐阜ダルク	46		○	○	
NPO 法人 三重ダルク	47		○	○	
NPO 法人 京都マック	48		○	○	薬物依存、発達障害支援が中心
大阪いちょうの会	49		○	○	多重債務に関する支援
特定非営利活動法人いちごの会 リカバリハウスいちご	50		○	○	アルコール依存症が中心
ワンネスグループ フラワーガーデン	51	○	○	○	女性の当事者支援
ワンネスグループ ワンネスの里	52		○	○	精神疾患や依存症、触法未成年への支援
一般財団法人ワンネスグループ	52	○		○	
ギャンブル問題を考える家族会(藍里病院)	53	○		○	
愛媛県ギャンブル依存症の家族会「コスモスの会」	54	○		○	
高知うろこ(鱗)の会	55		○	○	多重債務に関する支援
特定非営利活動法人ジャパンマック 北九州マック	56		○	○	アルコール依存症が中心
特定非営利活動法人ジャパンマック ジャパンマック福岡	57		○	○	
一般社団法人 656 COBYPLAN	58	○		○	
特定非営利活動法人ちゅーりっぷ会長崎ダルク・グラフながさき	59		○	○	
特定非営利活動法人アディクション・ネットワーク	60		○		アルコール依存症が中心
特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク	61	○		○	
ワンネスグループ 一般社団法人セレニティパークジャパン沖縄	62		○	○	
琉球 GAIA 薬物・アルコール依存症リハビリセンター	63		○	○	
ALPS Center アルコール問題支援事業所	64		○	○	摂食障害を含む依存
一般社団法人むら	65		○		
沖縄ダルク サントゥアリオ	66		○	○	アルコール・薬物依存症が中心

2020年に全国の精神保健福祉センター及び、ギャンブル関連団体のご紹介、口コミ等で、全国に存在する民間団体に回答してもらいました。2021年3月に関係諸機関に配布し、掲載を希望する団体を追加してのご紹介です。

(北海道から沖縄まで地域の順に並んでいます)

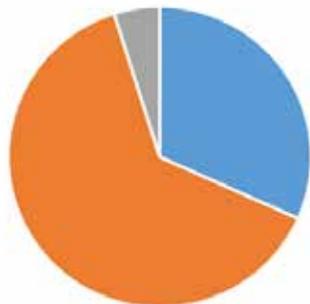
45団体から回答をいただいています。

所在地
北海道札幌市白石区東札幌2条5丁目1-21
北海道札幌市白石区本通16丁目北6-34 精神保健福祉センター相談研究部
北海道札幌市南区藤野4条3丁目8-18
秋田県秋田市上北手荒巻字堺切24番地の2・遊学舎内
栃木県宇都宮市下栗町2292-7
東京都中央区新川1丁目21番5号茅場町タワー105号室
東京都新宿区西新宿8-5-3アクセス西新宿9F
東京都新宿区矢来町131番地
東京都北区滝野川6-76-9 エスポワールオチアイ401,501,601
東京都板橋区板橋4-6-1 板橋スカイプラザ2J
神奈川県横浜市金沢区能見台通3番1号アサヒビル201号室
神奈川県横浜市神奈川区松本町4-28-16 弘津ビル2F
神奈川県横浜市中区扇町3-8-7 三平ビル1階
神奈川県横浜市南区宿町2-44-5
神奈川県横浜市旭区本宿町91番地6
神奈川県横浜市旭区東希望が丘133-1第3コーポランスC棟508号室
横浜市保土ヶ谷区西谷町4丁目1番6号西谷産業ビル1階
神奈川県横浜市瀬谷区相沢4-10-1 クボタハイツ102
神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷四丁目11番16 足立ビル1,2階
神奈川県川崎市川崎区桜本1-20-24 2階
神奈川県川崎市川崎区中島3-14-7
神奈川県相模原市中央区千代田3-3-20
山梨県甲府市幸町9-23 山梨回復支援センタービル2F
石川県金沢市黒田1丁目75-2
岐阜県岐阜市真砂町11-12 不破ビル
三重県津市栄町3丁目130
京都府京都市下京区大宮通丹波口下ル大宮3丁目18番地 MACビル
大阪府大阪市北区西天満4-5-5 マーキス梅田301号
大阪府大阪市東住吉区住道矢田3-4-3
奈良県橿原市上品寺町370-22
奈良県宇陀市大宇陀大東11-2
沖縄県南城市玉城字船越218-1
徳島県板野郡上板町佐藤塚東288-3
愛媛県松山市三番町6丁目4番地20号
高知県高知市本町4丁目1-37 (高知県社会福祉センター3階4号室)
福岡県北九州市小倉北区大手町6-27 管工事共同組合ビル3階
福岡市博多区堅粕3-19-19
佐賀県佐賀市鍋島3-2-4
長崎県長崎市目覚町14-15 浜ビル2階
長崎県諫早市多良見町化屋730-1 アディクション喜々津
沖縄県中頭郡西原町上原2丁目9番地の1ルボワ YARA2F
沖縄県那覇市前島2-2-16 コーポ有住401号室
沖縄県那覇市古波蔵1丁目18-37
沖縄県那覇市前島3丁目19-8
沖縄県宜野湾市大謝名4-6-28
沖縄県宜野湾市大謝名2-2-10 4F

2 アンケート結果

2020年5月に全国の精神保健福祉センターや関連団体から、地域にある自助グループや依存症支援の民間団体を紹介してもらい、73団体に対してアンケートを送付しました。その結果41団体より回答をいただきました。(回収率56.2%)

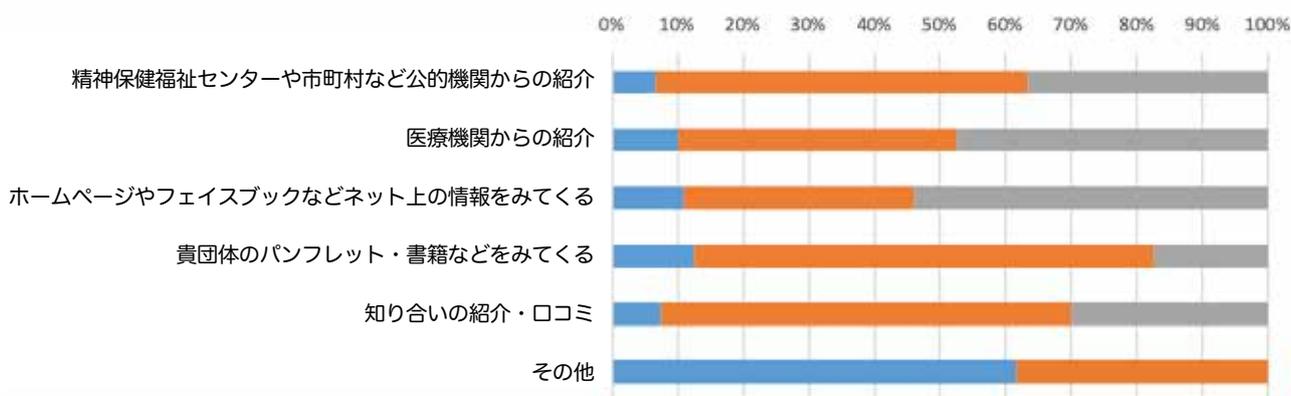
ギャンブルを中心とした施設ですか



■ はい ■ いいえ ■ 未入力

ギャンブルを中心とした施設は13例で、他はアルコールや薬物依存を中心とした施設でした。

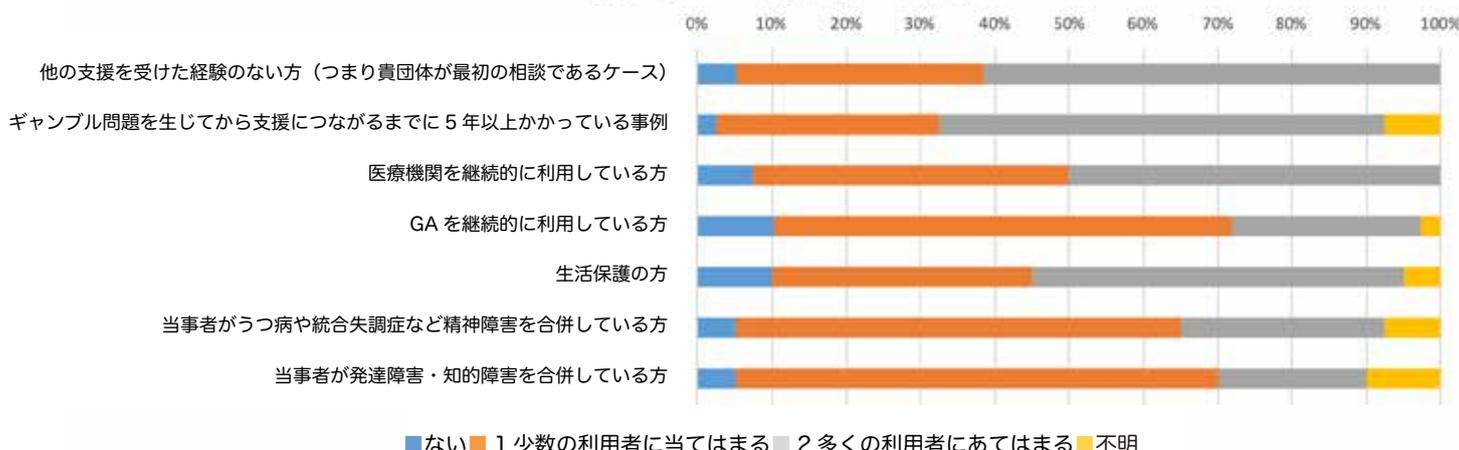
利用者はどこから情報を得て利用していますか



■ あてはまらない ■ 少数の利用者にあてはまる ■ 多くの利用者にあてはまる

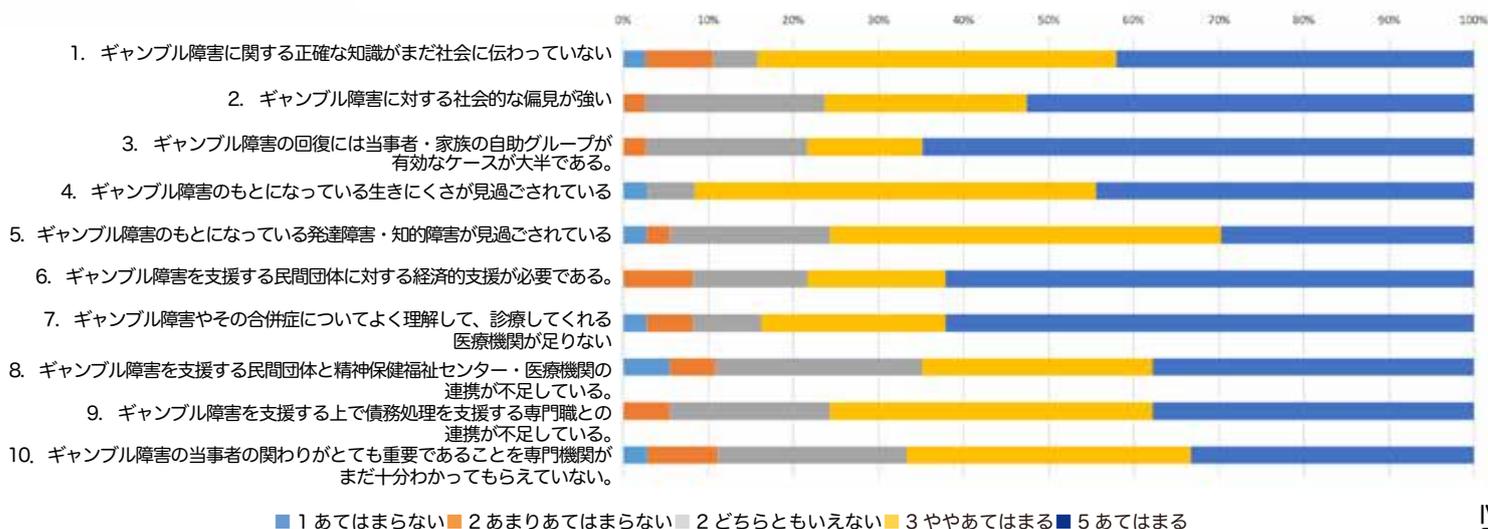
施設へのアクセスはインターネットや医療機関、行政機関からの紹介によるものが多いことがわかります。

相談のケース（当事者）の特徴



当事者の特徴として、ギャンブル問題から5年以上経過している事例が多く、半数の方が医療機関の継続利用、生活保護を利用していました。

ギャンブル障害の支援において感じていること



民間団体がギャンブル障害への支援で感じていることとして多かったのが、当事者や家族が自助グループに参加することが回復に有効、民間団体への経済的支援や医療機関の民間団体の周知、ギャンブル障害への社会の偏見などを感じていました。

ギャンブル依存症対策における社会へ望むこととしての 関係者からの意見

- ・行政、病院、警察、弁護士などの理解が進み、正しい情報をすぐに受け取り素早く適正な治療が出来るようになって欲しい。
- ・依存症の正しい知識の広報、予防教育の拡充、地域内外の機関との直接的な連携強化。
- ・問題が起きた時に相談先でギャンブル依存症かもしれないということを伝えてもらえるようにしてほしい。
- ・ファーストコンタクトの機会が予測される相談先の職員に対するギャンブル依存症や支援機関についての教育の機会を増やしてほしい。
- ・行政、医療、民間団体等の連携を強化し、当事者と家族の支援を手厚くする必要がある。





特定非営利活動法人 札幌マック

MAC= マックは、カトリックのアルコール依存症者回復のための施設
(メリノール・アルコール・ケアセンター) の略称

- 所在地 〒 003-0002 札幌市白石区東札幌 2 条 5 丁目 1 番 21 号
- 利用者 当事者
- 主な活動 1 日 3 回のミーティング (夜は自助グループ)
グループホームでの生活訓練 (仲間との関係づくりも含む)
宿泊研修 (年 2 回)
教会清掃 (月 1 回)
受託公園清掃 (週 1 回)
ボランティア清掃 (サイクリングロード週 1 回)
陶芸 (隔週月 2 回)
野外バーベキューなど
スタッフは全国マック協議会・JCCA に参加、各種研修・セミナーに参加
- 支援において大切にしていること

(仲間に対して)「できない人」ではなく「やればできる人」の共通認識。仲間は鏡 (人の振り見て我が振り直せ)。教えるのではなく伝える。(依存症からの強制的回復はありえない。本人の自由意志に基づく自己変容である)。人として尊重し、誠実に向き合う。12 ステップの実践 (スタッフは良くも悪くも回復のサンプルである)。自助グループにつなげる意識。
- 利用の手続き まずご連絡を→相談対応 (即日入所可) →入所・通所希望の確認→生活保護・障害福祉サービスに係る申請・自立支援医療等はケースに応じて手続きを進めます。(往復 1 時間 20 ~ 30 分) 歩けること。介護を必要としない生活が送れることなどが条件です。
- ホームページ等 <http://www.sapporo-mac.jp/>
- 団体連絡先等 011-841-7055(男性) FAX: 011-813-2043 info@sapporo-mac.jp
011-812-4903(女性) FAX は TEL に同じ jomac@pjade.plala.or.jp
- その他

カトレア会 自助グループ

- 所在地 札幌エルプラザ（〒 060-0808 札幌市北区北 8 西 3）
- 利用者 家族
- 主な活動 ギャンブラーとどう向き合っていくかを学びながら自分の辛さを話し気持ちを分かち合う
- 支援において大切にしていること
仲間が分かち合っている最中に他の人が話を遮ったりしない。話す人は何を話しても自由。
- 利用の手続き 問い合わせ先に連絡。会費 200 円／ 1 回
- ホームページ等 なし
- 団体連絡先等 問い合わせ先
道立精神保健福祉センター相談支援部 TEL：011-864-7000
- その他 原則毎月第 1 水曜日 10：00～11：30
毎月第 3 水曜日 13：30～15：00



社会福祉法人 青十字サマリヤ会

- 所在地 〒 061-2284 札幌市南区藤野 4 条 3 丁目 8 番 18 号
- 利用者 当事者、家族、その他
- 主な活動 アルコール、ギャンブル依存症からの回復中間施設
- 支援において大切にしていること
セルフマネジメントを高めて地域の中で依存症からの回復をし続けるための基盤づくり
- 利用の手続き 障害福祉サービスの利用申請
- ホームページ等
- 団体連絡先等
- その他



NPO 法人 コミファ・依存症家族の会

(地域の中の依存症の問題を抱える家族が語り合える所として)

- 所在地 病院の研修室、公共の市民施設など
- 利用者 家族の自助グループなので家族が中心となって集まっている。
保健所などの職員の方も時々参加されている。
- 主な活動
 - ・ 相談、情報提供
 - ・ 依存症の正しい知識を得るためのミニ勉強会
 - ・ グループミーティングを行いながら月 1 回の定例会を県内 3 カ所で活動している。
 - ・ 年に数回の出前講座で専門家を呼んで知識の習得と懇談会を通して家族の成長を目指している。
 - ・ 当事者をゲストスピーカーとして参加依頼し、依存症者本人の回復の話などを通して学ぶ機会を設けている。
 - ・ 普及啓発活動
- 支援において大切にしていること

依存症を有する人にサポートが必要のように家族にもサポートが必要である。との観点から一人も孤独にさせないことだと思っている。適切なサポートをしながら安心安全な居場所としてグループの中から自己変革できるような学びができることを目指している。
- 利用の手続き 特にありません。いつでも自由に参加。
- ホームページ等 <http://www.comi-fa.com/>
- 団体連絡先等 〒 010-1403 秋田県秋田市上北手荒巻堺切 24-2 (遊学舎)
080-3272-3233
- その他 NPO 法人コミファは様々な依存症の家族の会として出発しました。個別の種類のアディクションに関する家族会としては県内地域の広さからできない事情がありました。様々な依存症問題を同じ目線で捉え学ぶ中で、自分の居場所として安心して本来の自分自身を取り戻せる会であると自負しています。そして、そこから現在は、単独、ギャンプル依存症家族の会のグループも誕生して活動しています。
依存症問題は受け皿が少なすぎると実感しています。地域の広さ、冬の雪の深さ、交通手段などを考えるとその地域に即したあり方で、受け皿としての活動ができていると思います。(微力ながら)

特定非営利活動法人 栃木 DARC

- 所在地 〒 321-0923 栃木県宇都宮市下栗町 2292-7
- 利用者 薬物・アルコール・ギャンブル等の依存症のリハビリを必要とする人
依存症当事者とその家族
- 主な活動
 - ・ 県内にある 5 施設と 3 段階のシステム（3stage system）を駆使して本人へ回復するために必要な場所とプログラムを提供する施設事業をベースに以下の事業を展開
 - ・ 依存症者とその家族への回復支援事業
 - ・ 依存症に関する相談
 - ・ 依存症に関する講義、講演、研修、セミナーの開催
 - ・ 障害福祉サービス事業における自立訓練（R2/8/19 現在）
- 支援において大切にしていること
 - 回復動機は回復の場にいることから芽生えたと信じて根気強く焦らずに支援すること。
 - 本人のニーズに対して適切な対応をすること
 - 支援者の主観に偏らないようシステムに基づいた客観的な支援を心がける
- 利用の手続き 関係機関からの紹介、家族等からの問い合わせの後、キーパーソンへの相談事業を通じたアセスメントの後
- ホームページ等 <http://www.t-darc.com/>
- 団体連絡先等 宇都宮市下栗町 2292-7
028-666-8536
- その他 栃木 DARC は 2003 年の開設から今年で 17 年目を迎え、2020 年までに県内 5 力所の施設と地域にて依存症者とその家族へ向けた回復支援事業を展開しています。
栃木 DARC では独自の回復指標である「3stage system」を採用し 12 項目を 3 段階に分け「動機づけ」「回復」「社会復帰」「女性」「農業」のテーマを掲げ各施設に設けて回復支援を実施しています。
3 ステージを採用し、回復段階を可視化することで、利用者に対する共通の指標を提示することを可能とし、利用者が自分の段階や課題を把握しやすい構造となっています。提供する側の個人の主観に偏らない支援に有益であることも 3 ステージを用いるメリットです。ステージが上がると場所もプログラム内容も変化することから、環境変化によるステップアップの実感を得やすいことも特徴です。
施設事業の他にも関係機関からの委託を受けて講義や認知行動療法をベースとしたプログラムを出張で行い、地域でプログラムを必要とする様々な人たちへの支援も行っています。利用者に対する就労支援や家族支援など、依存症から生まれる様々なニーズに対応することで開設から現在までの形へと事業展開を図ってきました。
昨年度はギャンブル依存症者に対する入寮事業と宇都宮市の認可を受けて障害福祉サービス事業である自立支援を開始しました。既存のシステムに障害福祉サービス事業を併用することで、重複障害を抱える利用者に対するプログラムの充実を図り、様々なニーズに対応できる事業体制を整えています。

公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会



- 所在地 〒 104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 21 番 5 号 茅場町タワー 105 号室
- 利用者 ギャンブル依存症当事者、家族、支援者
- 主な活動
ギャンブル依存症問題でお困りの当事者やご家族に必要な支援を提供致しています。
また、ギャンブル依存症に対する誤解や偏見を払しょくし、より良い支援体制が構築されるよう社会に働きかけていきます。
 - ・ギャンブル依存症に関する正しい知識の啓発
(全国各地の自治体からの講演依頼を受けて、支援者向け、各地域の一般市民に向けての講演活動をしています)
 - ・ギャンブル依存症問題を抱える当事者・家族に向けて、情報及び必要な支援の提供
(家族相談会の実施、当事者支援)
 - ・青少年や社会に向けた、ギャンブル依存症の予防教育の実施
(学校での講演、啓発冊子の作成、配布、動画作成と配信、啓発ポスターの作成、LINE サービス配信等)
 - ・支援者同士の連携作り
 - ・政策提言
- 支援において大切にしていること
会のシンボルマークは「snow drop」という花で花言葉は「希望を叶える」です。ギャンブル依存症問題に苦しむ方々、そしてギャンブル依存症による社会の様々な問題に、希望をお届けできるものでありたいと願っております。
相談会では少人数制で細やかにご質問や不安な点にお答えいたします。
- 利用の手続き 相談は相談専用電話番号 070-4501-9625 へご連絡ください。
講演等の依頼はホームページのフォームより送信してください。
- ホームページ等 <https://scga.jp/>
- 団体連絡先等 〒 104-0033 東京都中央区新川 1 丁目 21 番 5 号 茅場町タワー 105 号室

- その他



一般社団法人 グレイス・ロード 東京センター

- 所在地 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-3 アクセス西新宿 9 階
- 利用者 当事者
- 主な活動
 - ①ギャンブル依存症回復支援
 - ・ 12 ステッププログラムを習得することにより、将来の社会的自立を目指します。
 - ②相談業務
 - ・ ギャンブルの問題でお困りの方本人やご家族からのご相談に対応しています。
 - ③予防啓発活動
 - ・ 行政、司法、教育機関とも連携し、講演会や勉強会などの予防啓発活動を行っています。
- 支援において大切にしていること
 - 一当事者として寄り添った回復支援
- 利用の手続き 直接来所できない場合は、電話またはメールでも手続きは可能です。
- ホームページ等 <http://www.gracelord-tokyo.jp/>
- 団体連絡先等 〒 160-0023 東京都新宿区西新宿 8-5-3 アクセス西新宿 9 階
TEL : 03-5937-3816 FAX : 03-5937-3817
E-mail : grace-tokyo@iaa.itkeeper.ne.jp
- その他 グレイス・ロード東京センターは、西新宿にあるギャンブル依存症回復施設です。ご本人・ご家族など、ギャンブル依存症でお困りの方へ、ギャンブル依存症からの回復プログラムの提供、相談事業のほか、予防啓発活動などを行っております。



NPO 法人 全国ギャンブル依存症家族の会

- 所在地 〒 162-0825 東京都新宿区矢来町 131 番池
- 利用者 当事者、家族、その他
- 主な活動 私たちはギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く知ってもらうことを目的として啓発活動、情報提供などの活動をしています。
 - ・ 定例会にて参加者で行うギャンブル依存症に関する学習会
 - ・ 依存症問題の有識者を招き勉強会
 - 当事者、家族の体験談を聞き、病気の理解と家族の対応を学ぶ
 - 司法書士などによる借金問題の勉強会を通して、借金対応方法を学ぶ
 - ・ セミナー、シンポジウムを開催
- 支援において大切にしていること

私たちはギャンブル依存症に対する正しい知識を国民の皆様知ってもらい、ギャンブル依存症の当事者はもちろんのこと、家族が苦しみや悲しみから解放され、ギャンブル依存症による社会問題が減少していくことを望んでいます。行政との連携、情報交換、新しくつながってきた家族の相談と解決策の提案を大事にしている。
- 利用の手続き ホームページやチラシにて担当窓口の電話連絡先を明示して対応している
- ホームページ等 <https://gdfam.org/>
- 団体連絡先等 〒 162-0805 東京都新宿区矢来町 131 番地
TEL : 090-1404-3327 FAX : 047-381-4123
- その他

ギャンブルによって、借金やその他の問題を繰り返すギャンブラーに対して、何とかできる方法はないだろうか悩み、自分を責め、苦しんできたのが私たち家族です。そして、同じ苦しみの中にいる家族たちが当事者との適切な関わり方を学び、結果として、当事者にとっても家族にとっても有効な手立てが取れるのではと考えるようになりました。

私たちは、ギャンブル依存症の家族が抱える問題を広く知ってもらうことを目的として、啓発活動、情報提供などの活動しています。

今後、治療施設やセルフケアサービス、行政機関との連携により、依存症者の就労機会の確保を図る活動や、ギャンブル依存症問題の啓発と予防教育の推進を図る活動を行っていきます。

私たちは、ギャンブル依存症に対する正しい知識を国民の皆様知ってもらい、ギャンブル依存症の当事者はもちろんのこと、家族が苦しみや悲しみから解放され、ギャンブル依存症による社会問題が減少していくことを望んでいます。

特定非営利活動法人ジャパンマック サポートセンター オ'ハナ

(オ'ハナはハワイ語の家族という意味)

- 所在地 〒 114-0023 東京都北区滝野川 6-76-9 エスポワール・オチアイ 401・501・601
- 利用者 当事者
(アルコール・薬物・ギャンブル依存症の方々、摂食障害者や買い物・インターネット依存の女性の方)
女性の依存症者のための多機能型事業所（生活訓練、B型就労継続支援）です。ナイトケアのご利用も可能です。
- 主な活動
 - ・ 自立訓練（生活訓練）
主に依存症からの回復のためのミーティングを中心に行っています。その他にパッチワークやDVD鑑賞、ヨガ、ドラマセラピー、バドミントン等を通して精神的、身体的な回復を目指した活動を行っています。就労の時期になりましたら就労支援も行っています。
 - ・ 就労継続支援 B 型
作業を中心とした活動。月単位で工賃が支払われます。作業を通して社会参加に必要なスキルを習得していきます。
- 支援において大切にしていること
依存症者は自分のことを表現するのが苦手で、自己表現に時間がかかるため、傾聴する姿勢を大切にしております。人間にも依存する体質なので利用者の精神的自立ができるように支援していくことを意識しております。
- 利用の手続き 電話にてお問い合わせをいただいた後、面接し、体験利用後に利用開始となります。同時に市町村の窓口で障害者総合支援法の「障害福祉サービス訓練等給付」の申請をお願いいたします。
- ホームページ等 <https://japanmac.or.jp/ohana/>
- 団体連絡先等 連絡先：03-3916-0851
- その他 依存症からの回復には、同じ病気から回復したいと願っている仲間との出会いが必要です。女性には女性特有の問題や課題があったり、家庭の事情や重複して障害を抱えているなど個人差が大きいため、それぞれの環境に合わせて回復を進められるように相談を受け付けています。女性専用の寮もあるのでご希望の方はお気軽にお問い合わせ下さい。

特定非営利活動法人ジャパンマック 障害福祉サービス自立訓練（生活訓練）事業所 RD デイケアセンター

- 所在地 〒 173-0004 東京都板橋区板橋 4-6-1 板橋スカイプラザ 2-J
- 利用者 当事者
(アルコール、ギャンブル、薬物、その他アディクションの問題を持つ当事者)
- 主な活動
 - ・リカバリーダイナミクスによる 12 ステップワークを担当スタッフと 1 対 1 で取り組む
 - ・12 ステップを 28 セッションに分けて、講義形式で学び理解を深めていく。
 - ・書籍等を使って 75 分間のミーティング
 - ・12 ステップや回復を課題としたグループワーク
- 支援において大切にしていること
 - ・AA のビッグブックを使って、リカバリーダイナミクスのステップワークを進める。
 - ・担当スタッフ制を取り入れた個別対応
- 利用の手続き 障害福祉サービス、自立訓練（生活訓練）の申請
- ホームページ等 <https://i-rddc.com/>
- 団体連絡先等 03-5944-1602
月～土：9：00～17：30（日曜日休み）
Email：i-rddc@japanmac.or.jp
- その他 AA の 12 ステップを施設で学ぶためのプログラム（リカバリー・ダイナミクス®）を提供する生活訓練事業所です。
ジャパンマックの法人所有のナイトケア施設も利用できるようになりました。



一般社団法人 ブルースター横浜

ブルースターの花言葉「信じあう心」からとり、依存症の人の多くは自分も他人も信じ合うことができず孤立してしまうことから、信じあう心を大切にしたいと思い命名しました。

- 所在地 〒 236-0053 神奈川県横浜市金沢区能見台通 3 番 1 号アサヒビル 201 号室
- 利用者 当事者
ギャンブル依存症を中心とした、インターネット・ゲーム・携帯・買い物依存症などから脱却しより良い生き方を目指していくためのプロセス依存症専門の入寮型施設です。主な利用者は 20～30 歳が多く利用しています。
- 主な活動 代表者自身がギャンブル依存症当事者で全スタッフが心理カウンセラーの資格を取得しました。
施設内での活動は集団認知行動療法の一つでもあるミーティングだけではなく、個々の段階に合わせた個別プログラムを中心に進めています。
まず繋がったばかりの人に依存症のことを伝えても聞く耳を持っておらず、気持ちを隠してきた生き方からか適当な相槌つまり聞いたフリをする人が非常に多いです。まずもって生活習慣を見直したり、施設での生活に慣れることの方が大事です。そして、そこから向き合っていく姿勢を学び聞く耳を持ち前向きな心を持てるようになれば依存症だけの問題は解決できると思います。しかし、依存症の裏にはその人その人の問題が隠れていることの方が多いため、このあたりを皆様にお伝えしています。
- 支援において大切にしていること
プロセス依存症で特に抱えている問題は、なかなか表面上に現れてこない生きづらさからくるのめり込みだと思います。以前は集団認知行動療法がこぞって有効だと伝えられて来ていましたがこの療法には合わない人がいることも分かってきました。そのため依存症を一括りにはせず、その人にあった個別対応が大切だと思いクライアントと向き合っています。
- 利用の手続き 令和 3 年 4 月 1 日より障害福祉サービス事業所自立訓練（生活訓練）として認可を受け活動しております。
利用に関しては障害福祉サービスを利用することで無料又は 1 割負担で利用をすることが出来ます。尚、生活保護の方も利用可能です。
困っていたらまずご相談ください。サポートします。
- ホームページ等 https://www.navida.ne.jp/snavi/100670_1.html
- 団体連絡先等 TEL : 045-349-2732 FAX : 045-349-2733
- その他

特定非営利活動法人 RDP RDP 横浜

(Recovery Dynamics Project の略です)

- 所在地 〒 221-0841 神奈川県横浜市神奈川区松本町 4-28-16 弘津ビル 2F
- 利用者 当事者（アルコール、薬物、ギャンブルなどの依存症で苦しんでいる人、共依存症からの回復を目指す家族の方も利用されています。）
- 主な活動 午前中はリカバリー・ダイナミクス®というプログラムを用いて AA のテキスト「アルコールクス・アノニマス」の 12 ステップを学びます。段階に応じて棚卸しなどのステップにも取り組みます。
午後はミーティングのほか、伝統について学んだり、ヨガ、調理実習など各種プログラムに取り組みます。夜間は各自、自助グループに参加します。
- 支援において大切にしていること
12 ステップにおいて、依存症からの回復に必要とされているフェロウシップ（仲間とのつながり）と内面の変化を感じ、アディクションを使わずに社会生活が営めるようになるようサポートを続けています。
- 利用の手続き まずは来所して当施設のプログラムに参加していただきます。体験利用を経たのち、自治体に障害福祉サービスの利用申請をし、受給者証を取得し、本利用となります。
- ホームページ等 <http://rd-project.org/>
- 団体連絡先等 TEL：045-595-9867 FAX：045-595-9866
- その他 ナイトケアのご案内（男性のみ）
依存症の回復には生活習慣の改善が必要不可欠だと言われています。RDP 横浜では、NPO 法人 RDP が運営するナイトケアハウス（寮）と連携して、依存症の再発を防ぐ生活スタイルを学ぶ環境を提供しています。
利用期間中の 24 時間の安全はもちろん、修了後社会に戻ってからも回復し続ける土台を作っていただけます。
見学及び体験利用は無料ですのでお気軽にお電話ください。



アルク翁

(住所が翁町にあったため)

- 所在地 〒 231-0027 神奈川県横浜市中区扇町 3-8-7 (三平ビル 1 階)
- 利用者 当事者
主にアルコール依存症中心 (ギャンブル、薬物)
- 主な活動 AM ミーティング (アルク合同週 2 回)
PM 作業
 - ・外注、軽作業中心、施設外就労 (清掃、週 1、2 回)
 - ・地域行事への参加
 - ・昼食サービス (週 2 回)
 - ・週 1 回のウォーキング
 - ・毎朝ラジオ体操
 - ・ビジネスミーティング (役割分担等)
- 支援において大切にしていること
 - ・飲まない新しい生き方の継続
 - ・面接を通しその人に適した個別支援計画を作成
 - ・安定した通所を目指す
 - ・自助グループの必要性を気づいてもらう支援
- 利用の手続き 窓口受付、第一アルクデイケアセンター
利用者個々の支援に合った他の 4 施設にご案内し 4 施設内でも必要な手続きを取れば可能となります。
- ホームページ等 <http://kotobuki-aruku.jp/> (市民の会 寿アルク)
- 団体連絡先等 〒 231-0025 神奈川県横浜市中区松影町 3-11-2(2F)
特定非営利活動法人 市民の会 寿アルク
TEL : 045-641-7344 FAX : 045-641-7352

〒 231-0027 横浜市中区扇町 3-8-7
アルク翁
TEL : 045-263-6495 FAX : 045-263-6496
Email : arc1.okina@utopia.ocn.ne.jp
- その他 (就労継続支援 B 型)

NPO 法人 横浜ダルク・ケア・センター

- 所在地 〒 232-0017 神奈川県横浜市南区宿町 2 丁目 44-5
- 利用者 麻薬や覚醒剤、シンナーだけでなく咳止め薬、鎮痛剤、睡眠薬、精神安定剤、危険ドラッグそしてアルコールなど生活の身近な薬によって薬物依存になった人たちの回復と社会復帰を手助けする民間のリハビリ施設
- 主な活動 ナイトケア
デイケア
個別相談、生活指導、金銭管理、健康管理、就労援助など
1日3回のグループワークを中心に、スポーツ、レクリエーション、自助グループのセミナー、他ダルクとの合同合宿セミナーへの参加等。
入寮者には、定期的にカウンセリングを行い、週に1度スタッフ全員でメンバーのケース検討を行う。

■ 支援において大切にしていること

横浜ダルクには強制するものではありません。必要なのは薬をやめたいという本人の意思と、1日3回のミーティングに必ず参加することだけです。ミーティングは原則として批判したり、非難したりせず、お互い黙って耳を傾けます。ダルクに来た新しい仲間は、自分の体験を話すことによって、今まで自分ひとりの中で悩み苦しんできた事から解放され、自分と同じ体験をして共通の問題を抱えている仲間がいることを知り、お互いに共感することができるのです。回復したスタッフや仲間の明るい声や、落ち着いた態度が、自分も同じように回復できるかもしれないという希望につながります。また、新しいメンバーの姿は、かつての自分の姿であり、自分が薬にまた手を出せばどうなるかを教えてくれているのです。ミーティングで経験や体験を分かち合う中で、彼らの心は少しずつ癒され回復につながっていくのです。

- 利用の手続き
- ホームページ等 <https://yokohama-darc.jp/daycare/>
- 団体連絡先等 045-731-8666
- その他



特定非営利活動法人 横浜マック 横浜マック・デイケアセンター 男性用グループホーム(いしずえ)、女性用グループホーム(まゆの家)

「MAC」は、「Mission Alcohol Center」の略と聞いています

- 所在地 〒 241-0023 神奈川県横浜市旭区本宿町 91-6
最寄り駅は相鉄線二俣川駅です

- 利用者 アルコール依存症の方がメインですが、薬物依存症、ギャンブル障害の方もいらっしゃいます

- 主な活動 ・ミーティング(グループセラピー)
 ・認知行動療法
 ・レクリエーション・プログラム(スポーツ、調理、ヨガ etc.)
 ・個別面談
 ・専門病院や行政への広報活動

- 支援において大切にしていること

 各利用者に必ず担当職員がつき、週1回程度定期的に個別面談の時間を設けるようにしています。
 個別面談の中で個々の個性や背景、それぞれの障害や問題をつかんで一人一人に合った支援計画を立てていくよう心がけています。

- 利用の手続き 障害福祉サービスの自立訓練(生活訓練)施設になります。

- ホームページ等 <http://yokohama-mac.blue.coocan.jp/>

- 団体連絡先等 TEL : 045-366-2650
 〒 241-0023 神奈川県横浜市旭区本宿町 91-6

- その他 横浜マックデイケアセンターではミーティングと認知行動療法を行なっています。グループホームは、アルコール・薬物・その他の依存の問題から回復を願っている人たちが、落ちついた雰囲気の中で、規則正しい生活のリズム(習慣)を取り戻していく宿泊施設です。
 横浜マック・デイケアセンターへの通所、及び地域の自助グループへの参加を通して、ありのままの自分を受け入れ、対人関係を学び、プログラムを実践していくことによる身体的、精神的な回復、及び社会的な自立を目的としています。

NPO 法人ギャンブル依存ファミリーセンター ホープヒル

- 所在地 〒 241-0826 横浜市旭区東希望が丘 133-1 第 3 コーポラス C 棟 508 号
- 利用者 ギャンブル依存症の当事者・ご家族
- 主な活動 ギャンブル依存症で困っている家族やその家族に対して、個別相談やセミナーを通して正しい知識を啓発して支援すること、それを支援する援助者に対してもギャンブル依存症の正しい知識と対応方法を啓発していくこと。また、ギャンブル依存症の回復施設を継続運営して困っている本人の社会復帰を支援する。
- 支援において大切にしていること
家庭内において当事者の対応に戸惑い、悩み、傷つくことにもなっているため、疑問、不安など家族の気持ちに寄り添いながら支援していく。
本人に合った治療方針を提供している。
- 利用の手続き 家族と本人の個別相談（有料）、電話・メール相談（無料）
毎週土曜日に開催している家族教室にいつでも参加可能（有料）
- ホームページ等 <https://www.npo-hopehill.com/>
- 団体連絡先等 045-364-5289
- その他 日本ではじめてのギャンブル依存症に苦しんでいる家族を支援するセンターです。あわせてアルコール・薬物・インターネット・ゲーム・株・先物取引・過食・拒食・恋愛・セックス・盗撮・痴漢・買物・仕事・虐待・暴力・AC・共依存など、嗜癖（アディクション）問題全般の相談にもなります。これらについて、正しい知識や回復可能な病気であることを伝え、苦しんでいるご家族を支援していきます。相談者自らが「回復する力」を持っているとの考えに基づき、自らのその力に気づいてもらい、回復の手助けをします。必要に応じて自助グループやデイケア施設、医療機関と連携して、相談者の問題に対処していきます。
アディクションは、苦しんでいる本人はなかなか気がつこうとしない、いわば否認の病気です。ホープヒルでは、まずは気がついたご家族やご友人、関係者のご相談をお待ちしています。

非営利活動法人ヌジュミ

(沖縄の方言で「希望」です)

- 所在地 〒 240-0054 横浜市保土ヶ谷区西谷町 4 丁目 1 番 6 号西谷産業ビル 1 階
- 利用者 女性の依存症利用者に限る
- 主な活動 ・ 電話相談、見学、面接など
 ・ 年 1 回セミナーなど
 ・ 手芸、散策、ヨガ、軽体操、調理
 ・ 集団療法（ミーティング）
 ・ GA 参加など
 ・ 広報を年 3 回発行
 ・ リーフレットや冊子などで啓発活動を行っている
 ・ ホームページ
- 支援において大切にしていること

 各自の問題行動をやめるのではなく、やめ続けることを目指している。それにはグループセラピー（ミーティングでの仲間との分かち合い）から気づきをもらい、お互いが成長と回復を目指します。それには 12 ステップを指針にしている。
- 利用の手続き 面接の際には、面接カードを書いてもらう。通所が決まったら横浜市からの重要事項説明書や施設利用規約などを説明する。
 費用は無料です。
- ホームページ等 <http://nujyumi.la.coocan.jp/>
- 団体連絡先等 〒 240-0054 横浜市保土ヶ谷区西谷町 4 丁目 1 番 6 号西谷産業ビル 1 階
- その他 「女性のギャンブル依存症など回復を支援する施設です」
 パチンコ、パチスロ、FX、ネットゲーム、競馬、etc
 買い物・借金癖・盗癖
 やめたいけどやめられない、身近にやめさせたい大切な人がいるけど、どうしたらよいかわからない
 〈電話・メールによる相談の通所の費用は無料です、相談は男女を問いません。〉
 電話・メールによる家族・本人・友人などの相談、の通所の費用は無料です。男女を問いません。

NPO 法人 ワンデーポート

- 所在地 〒 246-0013 神奈川県横浜市瀬谷区相沢 4-10-1 クボタハイツ 102
- 利用者 ギャンブル依存症当事者、ご家族
- 主な活動 電話相談 (無料)
家族への個別相談 (無料)
入所施設の運営
本人の個別相談
通所による支援 (無料)
社会啓発を目的としたセミナーの開催
- 支援において大切にしていること
 - (1) 一人ひとりの尊厳を守り、その人らしく社会参加するためのお手伝いをします。
 - (2) ギャンブルで問題を起こす背景は様々であり、ひとくくりに「依存症」ととらえることはしません。
 - (3) ギャンブルに起因する問題解決のためには、人間と人間との出会いが不可欠だと考えます。
 - (4) 関係機関など、あらゆるネットワークを活用します。
 - (5) ギャンブルは社会的行為であり、社会の変化とともに、利用者も変化すると考えます。そのため、援助方針や提供されるプログラムは、時代に合わせ変化するべきものと考えます。
- 利用の手続き 入所に関しては HP の Q & A をご確認くださいの上、不明点がありましたらお問い合わせください。
- ホームページ等 <http://www5f.biglobe.ne.jp/~onedayport/index.html>
- 団体連絡先等 TEL : 045-303-2621 FAX : 045-303-2629
メール oneday.yokohama@knd.biglobe.ne.jp
- その他



特定非営利活動法人 あんだんて 女性サポートセンター Indah (インダー)

- 所在地 〒 246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷四丁目 11 番 16 足立ビル 1,2 階
- 利用者 アルコール・薬物、その他の依存症で苦しんでいる女性、重複障害、クロスアディクションの方も多い
- 主な活動 女性のアルコール、薬物、その他の依存症からの回復と社会復帰を支援している。
毎週月曜日に電話相談、毎月 1 回（第 3 火曜日）家族会を開催している。
畑作業（水・金）アートクレイシルバーの作成、音楽療法、軽体操などや、依存症の勉強会もある。
- 支援において大切にしていること

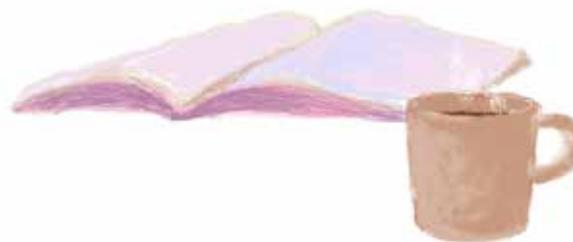
当事者ご本人の主体性と家族的な雰囲気です。居場所になるように心がけています。
我慢で止めるのではなく、楽しいことや、大切なことを仲間の中で体験しています。
- 利用の手続き 電話連絡の上、見学をしていただき通所できそうであれば登録して利用してもらおう。
- ホームページ等 <http://indah-sos.com>
- 団体連絡先等 〒 246-0031 神奈川県横浜市瀬谷区瀬谷四丁目 11 番 足立ビル 1,2 階
TEL/FAX 045-302-5882
- その他

K-GAP ハウス (かわさき ギャンブラーズ アディクション ポート)

- 所在地 〒 210-0833 神奈川県川崎市川崎区桜本 1-20-24 2 階
- 利用者 ギャンブル・アルコール・薬物依存症当事者、家族
- 主な活動 ギャンブル、お酒、薬物等に問題を抱えていて、日常生活を営むのに困難を感じている方が、地域において共同して自立した生活ができるように支援・工夫をします。また、利用者の希望を聴きながら、安心・安全に生活できるように、運営・支援をします。
- 支援において大切にしていること
K-GAP ハウスのアクティビティ・プログラムは、健全で生活習慣をつくっていくための重要なプログラムです。アディクションをやらない生き方を続けていく上で、アディクション以外の楽しみを見つけることはとても大切ですので、依存行為以外で何か自分にあった楽しみを発見するお手伝いをさせていただきます。
- 利用の手続き 相談や見学は基本無料です。入寮の場合のみ寮費を頂いております。生活保護受給中の方でもご利用いただけます。各アディクションの問題により困窮している方、居場所がない方もご相談ください。利用期間は特に定めはありません。
- ホームページ等 <https://k-gap.jp/>
- 団体連絡先等 〒 210-0806 神奈川県川崎市川崎区中島 3-14-7
●アクセス
鉄道：京急大師線「鈴木町」駅から徒歩 15 分
バス：川崎駅東口バスターミナル
・「臨港病院前」バス停下車から徒歩 2 分
・川崎市営バス 14 番乗場 (川 10) より 9 分
・川崎鶴見臨港バス 1・2 番乗場 (川 21) より 8 分
・「中島二丁目」バス停下車から徒歩 6 分
・川崎市営バス 12 番乗場 (川 04・05・07) より 7 分
・川崎鶴見臨港バス 16・17 番乗場 (川 03) より 8 分
- その他 TEL : 044-742-7162

一般社団法人 Nesting 自立訓練（生活訓練）事業所 ケーギャップ

- 所在地 〒 210-0806 神奈川県川崎市川崎区中島 3-14-7
- 利用者 アルコール・薬物・ギャンブル等依存症者
- 主な活動 個別相談・仲間とのミーティングでの分かち合いを基本に、様々なアクティビティを行なっています。四季を感じるプログラムや調理実習・地域交流・スポーツなど新しいライフスタイルを作っていくことを大切にしています。（例 サーフィン、釣り、ランニング、BBQ、音楽、クリスマス会など）
今までやったことがないことでも仲間と一緒になら楽しめることを体験し、アクションを必要としない生き方を目指します。
- 支援において大切にしていること
巣を意味する英語「NEST」に「ing」をつけた「Nesting・ネスティング」とは、自分の居場所「巣」を居心地よくして楽しむライフスタイルといえます。
依存症から回復するためには今日1日をどう生きるか、「真実を語る、信じる、自己受容をする、夢や希望を追う、楽しむ」を仲間と共に体験する場所が必要です。
- 利用の手続き ご相談、見学などお気軽にお問い合わせください。
TEL 044-742-7166
- ホームページ等 <https://www.nesting2020710.com/>
- 団体連絡先等 〒 210-0806 神奈川県川崎市川崎区中島 3-14-7
TEL/FAX : 044-742-7166
Mail Nesting2020710@gmail.com
- その他



一般社団法人 相模原ダルク

- 所在地 〒 252-0237 神奈川県相模原市中央区千代田 3-3-20
- 利用者 薬物・アルコール・ギャンブル依存症者・その他行動嗜癖等の当事者及びご家族様
- 主な活動 午前 10:30～12:00 ピアカウンセリング
午後 13:30～15:00 プレジャー エイサー スポーツ SAGARPP(認知行動療法)
12 ステップワーク、個別アセスメント

【ピアカウンセリング】 ピアカウンセリングは全国のダルク共通プログラムです。言いつばなし、聴きつばなしのルールに従って、自分の過去の経験や今の状態を仲間と分かち合い、お互いに共感し合い、自分自身を見つめ、新しい生き方への気づきを手に入れます。

【スポーツ】 依存症に陥っている間は、体を動かし汗をかくことが少ないため、このプログラムでは軽いスポーツ（パレーボール、ソフトボール、バドミントン、ウォーキング等）を行うことで体力回復や仲間とのコミュニケーションの向上を図ります。

【SAGARPP】 SAGARPP とは、米国でその有効性が広く知られているマトリックス・モデルという総合的外来薬物依存症治療プログラムをもとにしたワークです。専用のワークブックの内容に沿って、依存症からの回復を目指します。マトリックス・モデルに関して専門的な知識を持ったスタッフが担当しています。

【プレジャー】 プレジャーの目的は、仲間と楽しむことです。仲間の希望によりませんが、バーベキューをしたり、スキューバダイビング、キャンプ、登山、カヤック、ジェットスキー、サーフィン等自然と親しみながら、新しい環境で健康的な遊びをします。

【個別アセスメント】 年齢、経歴、家庭環境、依存症対象、依存形態などにより、依存症の進行度は一人一人異なります。そのため相模原ダルクでは、まず入所時に、経験豊富で専門的なスキルを持ったスタッフがクライアントの依存症の進行度（依存のレベル）を見極めることから始めます。入所後、様々なプログラムを進めていく中で回復のスピードも個々全く異なります。相模原ダルクでは3ヶ月ごとに個別の機会を設け、それぞれの回復スピードに合わせた支援計画をクライアントの意思を尊重しながら進めていきます。

■ 支援において大切にしていること

- ・当事者による直接的な支援
- ・利用者の意思を尊重しながら特性に合わせた個別支援
- ・自己肯定感、協調性の向上

■ 利用の手続き

まずは相談の上
電話：月～金 9:00～18:00 土 9:00～12:00
メール：随時
来所：月～金 9:00～18:00 土 9:00～12:00 ※時間外は応相談
訪問：月～金 9:00～18:00 土 9:00～12:00 ※時間外は応相談

■ ホームページ等

<https://s-darc.com>

■ 団体連絡先等

住所 神奈川県相模原市中央区千代田 3-3-20
TEL：042-707-0391 FAX：042-707-0392
メール info@s-darc.com

■ その他

一般社団法人 グレイス・ロード

(英語で「神の恵み」から)

- 所在地 本部) 〒 400-0857 山梨県甲府市幸町 9-23
山梨回復支援センタービル 2F
- 利用者 ギャンブル依存症当事者、ご家族、その他（行政、医療、司法からの相談窓口として）
- 主な活動
 - ・ギャンブル依存症者への回復プログラムの提供
グループミーティングを軸とした回復プログラムの実施
自助グループ（GA など）への参加
プログラム修了者に対するアフターサポート（再発予防プログラム）
 - ・相談対応
ギャンブル依存症当事者や家族等に対して、電話やメールでの相談を実施
 - ・講演・広報・啓発活動
フォーラム、セミナーの開催と参加、講師派遣
メディアを通じた広報・啓発・機関誌の発行
 - ・地域との交流、ボランティア活動
地域行事参加、地域避難所の提供、ゴミ拾いボランティア
- 支援において大切にしていること
 - ・ギャンブルをしない日常生活の構築
 - ・断ギャンブルにとどまらない生き方の修正
 - ・ギャンブル依存症者にとっての「居場所」になる
 - ・当事者活動（ピアサポート＝当事者が当事者を手助けする仕組み）
- 利用の手続き 電話での問い合わせ・相談
TEL：055-287-8347（山梨） TEL：03-5937-3816（東京）
メールでの問い合わせ・相談
ホームページの相談フォームから記入送信
- ホームページ等 <https://gracelord.jp/>(山梨) <http://gracelord-tokyo.jp/>(東京)
- 団体連絡先等 一般社団法人 グレイス・ロード本部
住所 〒 400-0857 山梨県甲府市幸町 9-23
山梨回復支援センタービル 2F
TEL/FAX：055-242-8001 E-mail g.lord1224@gmail.com
- その他 私たちグレイス・ロードはギャンブル依存症に苦しむ当事者とその家族、そして地域と社会の役に立てるよう、日々活動しています。詳しくはホームページをぜひご覧になってください。

株式会社 鏡心（旧：一般社団法人セルフリカバリー） 自立訓練施設「マインド」自立訓練施設「ステップ」

令和3年7月1日より名称変更

- 所在地
石川県金沢市黒田1丁目75-2
マインド 〒921-8005 石川県金沢市間明町1-231
ステップ 〒920-3131 石川県百坂町ニ38
- 利用者
当事者
- 主な活動
 - ・ミーティング
 - ・家計簿
 - ・運動
 - ・就労支援
 - ・SST
 - ・買い物支援
 - ・創作
 - ・園芸
 - ・依存症プログラム
 - ・調理
 - ・余暇活動
 - ・その他自立に向けた準備
- 支援において大切にしていること
当事者自身が回復への主役であり脚本家でもあります。本人にとっての素晴らしいストーリーを創るために、私達支援者は、その人の「強み」「個性」に着目しています。
- 利用の手続き
障害福祉サービス利用までワンストップで対応しています。併設している相談支援事業所、入所施設の利用、顧問契約や連携による弁護士、医療機関、行政機関等との連携でスムーズに対応できます。
- ホームページ等
<http://self-r.net/>
- 団体連絡先等
本社：076-240-2533
マインド：076-292-2963
ステップ：076-257-2963
石川富山救々サポート「ふくろうの会」：0120-207-567
Email info@self-r.net
- その他
関連企業にて法務省自立準備ホームを運営しております（石川県・富山県）。ギャンブル依存症による触犯者、矯正施設出所者の支援もしております。
金銭管理もご本人の承諾に基づき、実施しています。依存症からのリカバリーには適した環境を提供しています。

特定非営利活動法人 岐阜ダルク

- 所在地 〒 500-8864 岐阜市真砂町 11-12 不破ビル 4 階
- 利用者 依存症当事者、家族、その他
当事者以外の方は、必要な相談に応じ、家族会の開催などによりサポートしています。
- 主な活動
 - ・ 男性用入所施設 1 カ所、女性用入所施設 2 カ所の運営
 - ・ 指定自立訓練（生活訓練）事業所 Step house の運営
 - ・ 岐阜ダルク家族会 STEPS の開催
 - ・ ニュースレター「鶺鴒つうしん」の発行
 - ・ 依存症に関する電話・来所での相談に対応
- 支援において大切にしていること
仲間と共にいるなかで、12ステップのプログラムを実践し、依存症となった自分自身を変えていきます。
- 利用の手続き まずは相談においで下さい。
- ホームページ等 <http://gifu-darc.sakura.ne.jp/>
- 団体連絡先等 岐阜市真砂町 11-12 不破ビル 4 階
TEL：058-201-3555
- その他



NPO 法人 三重ダルク

- 所在地 津駅前事務所 〒 514-0004 三重県津市栄町 3 丁目 130
- 利用者 依存症及び関連する障害をお持ちの当事者／家族
- 主な活動 三重ダルクはアルコール・薬物・ギャンブルなどのアディクション問題を抱える人たちのためのサポートコミュニティです。アディクションを「手放す」から、新しい自分を「見つける」まで、お一人お一人にあったサポートを提供しています。
心と体のケア、社会スキル訓練から学業復帰、就労までをサポートしています。
通所と入所の方法があり、相談に応じています。
- 支援において大切にしていること

三重ダルクには 20 年以上の歴史があり、たくさんの回復者の人たちの「経験」があります。また、専門資格を持ったスタッフもたくさん在籍しており、経験だけでなく、理論的根拠に基づいたサポートを行なっています。

また、三重ダルクでは、アディクション問題の解決と同じくらい「日々の生活」が大事だと考えています。安心してプログラムを受けていただくために、私たちは安全・快適な住環境の整備を行い、生活に関するさまざまなサポートを行っています。
- 利用の手続き スタッフにお問い合わせください。
- ホームページ等 <http://www.miedarc.com>
- 団体連絡先等 TEL/FAX : 059-222-7510
E-mail : miedarc@zc.ztv.ne.jp
- その他



NPO 法人 京都マック

- 所在地 〒 600-8363 京都府京都市下京区大宮通丹波口下ル大宮 3 丁目 18 番地 MAC ビル
- 利用者 当事者、家族、その他
- 主な活動 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害者福祉サービス事業
 - ・ 地域啓発活動
 - ・ アルコール・薬物などなどについての研修会、セミナー、ワークショップ
 - ・ アルコール・薬物などなどの依存症をやめ続けるためのミーティング及びリハビリテーション
 - ・ アルコール薬物等々の依存症及びその家族に対し、グループセラピー及び個人カウンセリング
 - ・ 指定特定相談事業所の運営
 - ・ その他
- 支援において大切にしていること

アルコールや薬物を辞めたい仲間の手助けをすることを目的とする。
どんなにひどい依存症者でも自分に正直になり、マックプログラムを実践することにより回復を目指す。
- 利用の手続き ホームページ参照
- ホームページ等 <http://kyotomac.com/>
- 団体連絡先等 TEL：075-741-7125 FAX：075-741-7126
- その他

大阪いちょうの会 (大阪クレサラ・貧困被害をなくす会)

- 所在地 〒 530-0047 大阪府大阪市北区西天満 4 丁目 5 番 5 号マーキス梅田 301 号
- 利用者 ギャンブル被害の当事者やその関係者
多重債務被害の当事者やその関係者
ヤミ金被害の当事者やその関係者
その他貧困被害の当事者やその関係者
- 主な活動 クレジット・サラ金相談
 - ヤミ金・小口相談
 - 商工ローン被害相談
 - 年金担保被害相談
 - 特定調停解決
 - 自己破産の申立
 - 個人再生の申立
- 支援において大切にしていること

家族相談の際、借金の問題は本人の問題だと切り捨ててしまうのではなく、家族の支援が本人の回復につながるという視点で丁寧な家族支援に努める。
目的は、家族の健康と本人の回復であるという視点を忘れずに支援に取り組む。
自助グループや医療機関、他の支援機関との顔の見える関係づくり。
- 利用の手続き 電話受付：平日 13 時から 17 時 06-6361-0546
ギャンブル被害専用相談フォーム
<https://pro.form-mailer.jp/fms/aa048684203227>
- ホームページ等 <http://ichounokai.jp/index.html/>
- 団体連絡先等 TEL：06-6361-0546
- その他



特定非営利活動法人いちごの会 リハビリハウスいちご

- 所在地 〒 546-0022 大阪市東住吉区住道矢田 3 丁目 4-3
- 利用者 当事者、ご家族
- 主な活動 自助グループ・医療機関・行政機関・地域と連携、協働して障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する、法律に基づくサービスの提供を行っています。具体的には当事者が回復を続けるための生活と仕事づくりや社会参加の促進また、そのための多くの学びの提供を行っています。更に研修会や啓発企画の実施、通信の発行やホームページでの発信、医療機関や学校、地域などへのメッセージ活動を行いながら、学校や大学、関連団体との共同取り組みとして、各種協議会、専門職団体、多機関との連携を取りながら、自助グループや様々な社会資源と繋がる「つながりプログラム」を実施しています。
- 支援において大切にしていること
私たちが最も大切にしていることは回復を目指すということ、今日一日を共に大切に生き、新たな生き方（価値観、関係）を職員や仲間達と一緒に見つけ出すこと、自助グループにつながる生活作りを実現していきます。その上で誰もが生きやすい社会作りを目指しています。
- 利用の手続き まずはお電話にて受付をしております。そして、既に依存症の治療を受けられている場合は、日時を決めて施設の見学を行っていただきます。また依存症治療を受けておられない場合は、通所利用しながらご相談の上、専門治療機関をご紹介しますので、主治医の先生やソーシャルワーカーにご相談いただき、各市区町村へ申請を経てサービス利用開始手続きを行って頂きます。
- ホームページ等 <https://ichigonokai.jp/>
- 団体連絡先等 〒 546-0022 大阪市東住吉区住道矢田 3 丁目 4-3
TEL/FAX : 06-6769-1517
- その他

ワンネスグループ フラワーガーデン

- 所在地 〒 634-0803 奈良県橿原市上品寺町 370-22
- 利用者 当事者、ご家族
- 主な活動
 - ・ 無料相談窓口（来所・メール・LINE・フリーダイヤル）
 - ・ セミナー、講演、取材対応
 - ・ 矯正施設での薬物離脱指導教育
 - ・ 女性活躍推進に関する事業
 - ・ 何かに対する依存を抱え生きづらさがある方の回復支援（入所型）
 - ・ インタベンション（介入）、ダイバージョン（法律相談）
- 支援において大切にしていること

その人が本来持っている 自身の強みに気付いてもらい、過去の出来事や傷を癒し、レジリエンスを高めてもらう。そして本人のニーズや特性、強みを伸ばし、利用者の自律した日常生活と社会生活を実現するための支援を行う。
- 利用の手続き 電話にてお問い合わせください。
- ホームページ等 <http://oneness-g.com>
- 団体連絡先等 ※平日月～金 10：00～17：00
0120-111-351 0744-22-5752
- その他 ワンネスグループは人がよりよく生きるための「ウェルビーイング」に着目したプログラムを提供します。
従来の依存症支援は「維持」や「回復」といったマイナス領域をフラットにすることにとどまっていた。ワンネスグループでは「ウェルビーイング」の考え方を回復領域に適用し従来の支援ではできなかった、どうしたらより良く生きられるのかというプラス領域へのアプローチが可能になりました。これにより依存状態からの脱却やその他疾病の改善だけでなく、本来本人が持っている強みを生かし成長や持続的な幸福感の獲得など、「生きがいを持って人生を生きる」ことのできる社会生活や、人生設計を実現するための支援を行っています。

一般財団法人 ワンネスグループ

セレニティーパークジャパン名古屋、奈良、沖縄、奈良 GARDEN、
沖縄 GARDEN、ワンネスの里、ワンネスグループ奈良本部、九州沖縄本部、
日本ファミリーインタベンションセンター、ワンネス財団ダイバージョンセンター、
ワンネスグループ大阪オフィス（問題ギャンブル対策センター大阪）

- 所在地 財団本部 〒 901-0618 沖縄県南城市玉城字船越 218-1
TEL : 098-988-0945 FAX : 098-988-0946
- 利用者 発達障害、精神疾患、依存症、触法者・受刑者、
非行少年／少女 当事者、ご家族
- 主な活動 入所、通所（週末型）、相談等で当事者、ご家族の支援を行っている。
① 依存について知る機会の提供
② 依存症相談の提供
③ 依存回復サポートの提供（通所、オンライン）
④ 受刑者のためのライフキャリアスクール
⑤ 依存症を知る「マンガ小冊子」の無料ダウンロード 等

■ 支援において大切にしていること

ワンネス財団は、ウェルビーイングに着目した独自のプログラムとコンセプトで、精神疾患や様々な障害、各種依存、触法者の心身の回復とその後の成長を支援する専門機関です。

生き甲斐を持って「人生を生き直すことのできる回復と成長」をサポートしています。

- 利用の手続き ◆ 電話…（相談ダイヤル）0120-111-351
（月曜～金曜 10：00～17：00）
◆ メール…（メール相談）one@oneness-g.com
◆ LINE…タイムラインに直接相談可能
◆ 来所…各施設・各拠点に直接ご連絡いただくか
相談ダイヤル（0120-111-351）へ連絡後、日程調整を行う
- ホームページ等 <https://oneness-g.com/>
- 団体連絡先等 相談ダイヤル 0120-111-351（月～金曜日 10：00～17：00）
- その他

ギャンブル問題を考える家族会（藍里病院）

- 所在地 〒 771-1342 徳島県板野郡上板町佐藤塚東 288-3

- 利用者

- 主な活動 家族のギャンブル問題を言いつぱなし聞きつぱなしで話をし、穏やかさを取り戻している方の経験を参考に自らの健康を取り戻してもらえるような集いである。

- 支援において大切にしていること

 無名、実名を言う必要がない
 この会での話はこの場だけで持ち帰らない。

- 利用の手続き 特になし

- ホームページ等 <http://www.aizato.or.jp/>

- 団体連絡先等 TEL：090-4974-1741 または 088-694-5151

- その他



愛媛県ギャンブル依存症の家族会「コスモスの会」

(11月発足のため季節の花)

- 所在地 愛媛県松山市三番町6丁目4番地20号
- 利用者
- 主な活動
 - ①ミーティング（家族会）の開催（参加料 500 円）
毎月第2日曜日 13時半～16時
毎月第4木曜日 19時～21時
 - ②ギャンブル依存症と家族の対応セミナーの開催
 - ③専門職向けの講演会の開催
 - ④コスモス通信の発行
- 支援において大切にしていること

コスモスの会では「病について正しく対応を学んでください」また、「本人を手放してください」、そして「自分らしく生きてください」と伝えています。自分らしく生きることは病気の本人を見捨てることではなく、自分を大切にすることであり、本人を信頼し、大切にすることだということに気づいて欲しいと思っています。どうぞ自分の心の声に耳を傾けてください。
- 利用の手続き 会に参加の場合は、連絡する必要は無く、上記の会場、開催日に会場にお越しください。いつも同じ場所、同じ時間で開催しています。
- ホームページ等 なし
- 団体連絡先等 atuko.cosmos.1956@gmail.com
- その他

高知うろこ（鱗）の会

（「目から鱗（うろこ）がおちた」思いを忘れず、自分を守り、被害者を守り、新たな被害者を作らない社会を目指す多くの鱗になろう」という思いを「高知うろこ（鱗）の会」の名に込めました。）

- 所在地 〒 780-0870 高知県高知市本町 4 丁目 1-37 県社会福祉センター 3F-4
- 利用者 借金問題でお困りの方
- 主な活動 相談会（借金、多重債務、違法な取り立てやギャンブル依存症でお困りの方）
- 支援において大切にしていること

 ひとりで悩まず、高知うろこの会に相談してください。
 うろこの会には実際に被害経験のある相談者がいます。
 人生のリセット、なんとかなるはずです。
- 利用の手続き 相談会への参加（予約制）、メール相談、電話相談
- ホームページ等 <http://urokonokai.web.fc2.com/>
- 団体連絡先等 〒 780-0870 高知県高知市本町 4 丁目 1-37
 県社会福祉センター 3F-4
 高知うろこの会
- その他



特定非営利活動法人ジャパンマック 北九州マック

- 所在地 〒 803-0814 北九州市小倉北区大手町 6-27 管工事協同組合ビル 3 階
- 利用者 依存症当事者とご家族
- 主な活動 様々な依存症からの回復に向けてのリハビリ施設です。ご家族の方の相談も受け付けております。
ご利用は全て無料。
365 日開けております。
ミーティング個別相談、セミナー、フェローシップ
- 支援において大切にしていること

12 ステップをもとに回復の支援を行っています。
地域の自助グループへつながるようにお手伝いしています。
- 利用の手続き まずはお電話ください。
093-967-7691
- ホームページ等 <https://www.japanmac.or.jp/kitakyushumac/>
- 団体連絡先等 093-967-7691
- その他 北九州マック
北九州地域の地域活動支援センターです。

特定非営利活動法人ジャパンマック ジャパンマック福岡

- 所在地 〒 812-0043 福岡市博多区堅粕 3-19-19

- 利用者 当事者、ご家族

- 主な活動 ・ 施設内において当事者によるミーティング
 ・ 12ステップを用いた個別支援
 ・ RDを用いた教育プログラム
 ・ 外部からの相談（電話）
 ・ 外部の方、面談

- 支援において大切にしていること

 当事者の声に耳を傾け、当事者を中心とした支援

- 利用の手続き 障害福祉サービス

- ホームページ等 <https://japanmac.or.jp/jmacfukuoka/>

- 団体連絡先等 092-292-0182

- その他 九州地方のジャパンマック各施設を統括する事業所です。
 GH、就労移行支援、カウンセリングルームなど多岐にわたる事業を展開しています。



一般社団法人 656 COBYPLAN

- 所在地 〒 849-0937 佐賀県佐賀市鍋島 3-2-4
- 利用者 当事者、ご家族
- 主な活動
 - ・ 依存症の方の相談
 - ・ 依存症の方のことで困っている方の相談（家族、パートナー、会社の方、その他）
 - ・ 講演
 - ・ 入所プログラム
- 支援において大切にしていること

依存問題だけではなく、精神疾患や発達の問題などを見逃さないよう少人数制をとっています。（最大 10 名）グループワークをベースに個別のプログラムを提供できます。（入所を基本とします。）

その人に合った生活スキルを獲得できるよう支援します。

その人に合った金銭管理方法を獲得できるよう支援します。

その人に合った依存症プログラムを提供します。

同じ問題を解決しようとしている仲間との“共に、そばにいる”場の提供をします。

リカバリングスタッフ、専門医、弁護士との面接を通して身体的、精神的、社会的な健康を取り戻せるよう支援します。
- 利用の手続き まずはご連絡ください。
- ホームページ等 <https://www.cobyplan.jp/>
- 団体連絡先等
TEL : 0952-27-4755
MAIL cobyplan@gmail.com
- その他 COBYPLAN は佐賀県にあります。都会の喧騒を忘れてリハビリするには絶好のロケーションです。山と海の両方があり、生活は佐賀平野が中心となります。数ヶ月住んでみると南の島や北の大地にはない佐賀の魅力に気がつくはず。ここは最大 10 名の少人数制をとっており、効果の高いと言われるグループワークだけでなく、個別の対応にも力を入れております。

特定非営利活動法人アディクション・ネットワーク

- 所在地 〒 859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 730-1 アディクション喜々津
- 利用者 依存症の当事者
- 主な活動 依存症克服に向けた相談事業
 社会的生活を営む上で居宅支援企業
- 支援において大切にしていること

 依存症患者、社会的弱者の方々の現場の改善に寄与したいと考え、活動しています。
- 利用の手続き
- ホームページ等
- 団体連絡先等 〒 859-0401 長崎県諫早市多良見町化屋 730-1 アディクション喜々津
 特定非営利活動法人アディクションネットワーク 代表理事 永田寿一
 電話／FAX：0957-51-7594
- その他



特定非営利活動法人リカバリーサポート・ネットワーク

- 所在地 〒 903-0125 沖縄県中頭郡西原町上原 2 丁目 9 番地の 1
ルボワ YARA2F
- 利用者 当事者と家族
- 主な活動 リカバリーサポート・ネットワークは、パチンコ・パチスロの遊技に関する依存及び依存
関連問題解決の支援を行うことを目的に設立された非営利の相談機関です。
問題でお悩みの方やそのご家族を対象に、無料で電話相談を実施しています。
(通話料のみ、ご負担をお願いします)
- 支援において大切にしていること
- 利用の手続き
- ホームページ等 <http://rsn-sakura.jp/>
- 団体連絡先等 050-3541-6420
無料電話相談回線 (IP 電話)
月～金 (祝日除く) 10:00～22:00 (受付は 21:30 まで)
- その他

琉球 GAIA 薬物・アルコール依存症リハビリセンター

- 所在地 〒 900-0024 沖縄県那覇市古波蔵 1 丁目 18-37

- 利用者 当事者、ご家族

- 主な活動 アルコール・ギャンブル及び薬物依存症に関する電話相談及び、全国の連携治療機関の紹介（薬物・アルコール依存症相談センターの運営）

アルコール・ギャンブル及び薬物依存症者のリハビリ宿泊滞在及び通所施設運営事業、生活支援事業、自立支援事業（沖縄ケアセンター琉球 GAIA の運営）

アルコール・ギャンブル及び薬物依存症者をもつ全国のご家族への相談援助事業（GAIA 家族会の運営）

刑務所、少年院にて薬物離脱指導プログラムの開催。障害者地域生活支援センター等との連携や依存症家族会の開催など啓蒙教育活動の実施

- 支援において大切にしていること
 - ①安全な環境
 - ②さまざまな依存症教育プログラム
 - ③趣味や生きがいの発見
 - ④対人関係の改善
 - ⑤自立支援

- 利用の手続き ホームページからのメールフォーム、または、お電話
東日本 03-5800-5121
西日本 06-6433-5111
沖縄 098-851-3535

- ホームページ等 <http://ryukyu-t.com/>

- 団体連絡先等 098-831-2174（代表）

- その他

一般社団法人 むら

- 所在地 〒 901-2225 沖縄県宜野湾市大謝名 4-6-28
- 利用者 当事者
- 主な活動 アルコールや薬物、ギャンブル等依存問題をお持ちの方や、身体、知的、精神に障害をお持ちの方々が、沖縄県宜野湾市でコーヒー、紅茶の加工、販売を行っている就労継続支援B型事業所で、現在、多くの女性の方々が利用しています。

■ 支援において大切にしていること

アディクションをはじめさまざまな問題を持ちながらも、社会の中でなんとか今日一日を生活している方々が安心していただける日中の居場所の必要性を強く感じています。

アディクションに問題を持つ方々は、一人ではできないことも、仲間と一緒にできることもあります。ワーカーズホームでは、働く人の家として仲間と共に自立へ向けたお手伝いを致します。

働きたいけれど、どこから手を付けていいかわからない、働いているけれど毎日が大変、家にひきこもりがち等の現状から一歩前へ進めるようなサポートを致します。お気軽にお問い合わせください。

ワーカーズホームでは、自分のペースで自分らしさを取り戻せる家を目指しています。

■ 利用の手続き

- ホームページ等 <http://muraokinawa.org/>
- 団体連絡先等
TEL：098-955-1692
FAX：098-955-1692
メール：info@muraokinawa.org

■ その他

沖縄ダルク サントゥアリオ

- 所在地 〒 901-2225 沖縄県宜野湾市大謝名 2-2-10 4F
- 利用者 当事者、ご家族
- 主な活動 ミーティング
沖縄の伝統芸能 エイサー太鼓
ヨガ スポーツ DVD 鑑賞
認知行動療法
クラフト レクリエーション キャンプ 他
講演活動 等
- 支援において大切にしていること

個別対応、何度でもやり直せる事 人と人の繋がり
わたし達は、
生きづらさを抱え依存に苦しんでいるすべての人たちの
不安 と 恐れ を 愛 と 光 に転換し
新しい生き方 (ReStart) のガイドとなり
すべての人が 本来 持っている
自分らしい生命の輝きを蘇らせる (ReBorn)
支援をします
- 利用の手続き 生活保護の申請 (必要な方) グループホーム
障害福祉サービス (生活訓練 就 A,B)
- ホームページ等 <https://www.okidarc.or.jp/>
- 団体連絡先等 沖縄県宜野湾市大謝名 2-2-10 4F ギャンブル担当 長久保剛
098-943-8774
080-2555-7423
- その他



3 全国の精神保健福祉センター

都道府県	名称	郵便番号	所在地	連絡先
北海道	北海道立精神保健福祉センター	003-0027	札幌市白石区本通 16 丁目 北 6-34	011-864-7000
	札幌こころのセンター	060-0042	札幌市中央区大通西 19WEST19 4 階	011-622-0556
青森県	青森県立精神保健福祉センター	038-0031	青森市大字三内字沢部 353-92	017-787-3957
岩手県	岩手県精神保健福祉センター	020-0015	盛岡市本町通 3-19-1 岩手県福祉総合相談センター内	019-629-9617
宮城県	宮城県精神保健福祉センター	989-6117	大崎市古川旭 5-7-20	0229-23-0021
	仙台市精神保健福祉総合センター	980-0845	仙台市青葉区荒巻字三居沢 1-6	022-265-2229
秋田県	秋田県精神保健福祉センター	010-0001	秋田市中通 2-1-51 明德館ビル 1 階	018-831-3946
山形県	山形県精神保健福祉センター	990-0021	山形市小白川町 2-3-30	023-624-1217
福島県	福島県精神保健福祉センター	960-8012	福島市御山町 8-30	024-535-3556
茨城県	茨城県精神保健福祉センター	310-0852	水戸市笠原町 993-2	029-243-2870
栃木県	栃木県精神保健福祉センター	329-1104	宇都宮市下岡本町 2145-13	028-673-8785
群馬県	群馬県こころの健康センター	379-2166	前橋市野中町 368	027-263-1166
埼玉県	埼玉県立精神保健福祉センター	362-0806	北足立郡伊奈町小室 818-2	048-723-3333
	さいたま市こころの健康センター	330-0071	さいたま市浦和区上木崎 4-4-10	048-762-8548
千葉県	千葉県精神保健福祉センター	260-0801	千葉市中央区仁戸名町 666-2	043-263-3891
	千葉市こころの健康センター	261-0003	千葉市美浜区高浜 2-1-16	043-204-1582
東京都	東京都立精神保健福祉センター	110-0004	台東区下谷 1-1-3	03-3844-2210
	東京都立中部総合精神保健福祉センター	156-0057	世田谷区上北沢 2-1-7	03-3302-7711
	東京都立多摩総合精神保健福祉センター	206-0036	多摩市中沢 2-1-3	042-371-5560
神奈川県	神奈川県精神保健福祉センター	233-0006	横浜市港南区芹が谷 2-5-2	045-821-8822
	横浜市こころの健康相談センター	231-0005	横浜市中区本町 2 - 22 京阪横浜ビル 10 階	045-671-4455
	川崎市精神保健福祉センター	210-0005	川崎市川崎区東田町 8 番地 パレール三井ビル 12 階	044-200-3195
	相模原市精神保健福祉センター	252-5277	相模原市中央区富士見 6-1-1 ウェルネスさがみはら 7 階	042-769-9818
新潟県	新潟県精神保健福祉センター	950-0994	新潟市中央区上所 2-2-3	025-280-0113
	新潟市こころの健康センター	951-8133	新潟市中央区川岸町 1-57-1	025-232-5560
富山県	富山県心の健康センター	939-8222	富山市蜷川 459-1	076-428-1511
石川県	石川県こころの健康センター	920-8201	金沢市鞍月東 2-6	076-238-5750
福井県	福井県総合福祉相談所	910-0026	福井市光陽 2-3-36	0776-24-7311
山梨県	山梨県立精神保健福祉センター	400-0005	甲府市北新 1-2-12	055-254-8644
長野県	長野県精神保健福祉センター	380-0928	長野市若里 7-1-7	026-227-1810
岐阜県	岐阜県精神保健福祉センター	502-0854	岐阜市鷺山向井 2563-18 岐阜県障がい者総合相談センター内	058-231-9724
静岡県	静岡県精神保健福祉センター	422-8031	静岡市駿河区有明町 2-20	054-286-9245
	静岡市こころの健康センター	420-0821	静岡市葵区柚木 1014 番地	054-262-3011
	浜松市精神保健福祉センター	430-0929	浜松市中区中央 1-12-1 県浜松総合庁舎 4 階	053-457-2709
愛知県	愛知県精神保健福祉センター	460-0001	名古屋市中区三の丸 3-2-1 東大手庁舎	052-962-5377
	名古屋市精神保健福祉センター	453-0024	名古屋市中村区名楽町 4-7-18	052-483-2095

都道府県	名称	郵便番号	所在地	連絡先
三重県	三重県こころの健康センター	514-8567	津市桜橋 3-446-34	059-223-5241
滋賀県	滋賀県立精神保健福祉センター	525-0072	草津市笠山 8-4-25	077-567-5010
京都府	京都府精神保健福祉総合センター	612-8416	京都市伏見区竹田流池町 120	075-641-1810
	京都市こころの健康増進センター	604-8854	京都市中京区壬生仙念町 30	075-314-0874
大阪府	大阪府こころの健康総合センター	558-0056	大阪市住吉区万代東 3-1-46	06-6691-2818
	大阪市こころの健康センター	534-0027	大阪市都島区中野町 5-15-21 都島センタービル 3 階	06-6922-8520
	堺市こころの健康センター	590-0808	堺市堺区旭ヶ丘中町 4 丁 3-1 健康福祉プラザ 3 階	072-245-9192
兵庫県	兵庫県精神保健福祉センター	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通 1-3-2	078-252-4980
	神戸市精神保健福祉センター	650-0016	神戸市中央区橋通 3 丁目 4 番 1 号 神戸市立総合福祉センター 3 階	078-371-1900
奈良県	奈良県精神保健福祉センター	633-0062	桜井市粟殿 1000	0744-47-2251
和歌山県	和歌山県精神保健福祉センター	640-8319	和歌山市手平 2-1-2	073-435-5194
鳥取県	鳥取県立精神保健福祉センター	680-0901	鳥取市江津 318-1	0857-21-3031
島根県	島根県立心と体の相談センター	690-0011	松江市東津田町 1741-3 いきいきプラザ島根 2 階	0852-21-2045
岡山県	岡山県精神保健福祉センター	700-0985	岡山市北区厚生町 3 丁目 3 番 1 号	086-201-0828
	岡山市こころの健康センター	700-8546	岡山市北区鹿田町 1-1-1	086-803-1273
広島県	広島県立総合精神保健福祉センター	731-4311	安芸郡坂町北新地 2-3-77	082-884-1051
	広島市精神保健福祉センター	730-0043	広島市中区富士見町 11-27	082-245-7731
山口県	山口県精神保健福祉センター	753-0814	山口市吉敷下東 4-17-1	083-902-2672
徳島県	徳島県精神保健福祉センター	770-0855	徳島市新蔵町 3-80	088-625-0610
香川県	香川県精神保健福祉センター	760-0068	高松市松島町 1-17-28	087-804-5565
愛媛県	愛媛県心と体の健康センター	790-0811	松山市本町 7-2 愛媛県総合保健福祉センター 3 階	089-911-3880
高知県	高知県精神保健福祉センター	780-0850	高知市丸ノ内 2-4-1	088-821-4966
福岡県	福岡県精神保健福祉センター	816-0804	春日市原町 3-1-7 福岡児童相談所等庁舎 2 階	092-582-7500
	北九州市立精神保健福祉センター	802-8560	北九州市小倉北区馬借 1-7-1 北九州市総合保健福祉センター 5 階	093-522-8729
	福岡市精神保健福祉センター	810-0073	福岡市中央区舞鶴 2-5-1 あいれふ 3 階	092-737-8829
佐賀県	佐賀県精神保健福祉センター	845-0001	小城市小城町 178-9	0952-73-5060
長崎県	長崎こども・女性・障害者支援センター	852-8114	長崎市橋口町 10-22	095-846-5115
熊本県	熊本県精神保健福祉センター	862-0920	熊本市東区月出 3-1-120	096-386-1166
	熊本市こころの健康センター	862-0971	熊本市中央区大江 5-1-1 ウェルパルクまもと 3 階	096-362-8100
大分県	大分県こころとからだの相談支援センター	870-1155	大分市大字玉沢 908	097-541-5276
宮崎県	宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島 1-1-2 宮崎県総合保健センター 4 階	0985-27-5663
鹿児島県	鹿児島県精神保健福祉センター	890-0021	鹿児島市小野 1-1-1	099-218-4755
沖縄県	沖縄県総合精神保健福祉センター	901-1104	島尻郡南風原町宮平 212-3	098-888-1443

V おわりに

昨年3月に全国の精神保健福祉センターおよびギャンブル依存症に関係のある民間団体宛に本冊子の第1版を送付させていただき、全国各所で本書を設置していただいたり、ご活用いただきありがとうございました。また、民間団体の担当者におかれましては、お忙しい中、ご要望をお聞かせいただきまして、本冊子に反映させていただくことができました。改めて感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が変異を繰り返しながら世界的な流行を繰り返す中でも、依存症の回復支援に携わる方々、回復を目指す方々はその時々状況に応じてミーティングや家族教室を維持したり、プログラムを継続している様子を伺うことができました。また、これまで以上に電話やオンラインを活用したセミナー、リアルと併用したハイブリット型のミーティングといった、変化に応じた形での回復支援が行われていることを伺うことができました。

本冊子を手にとってくださっている方々の中には、ギャンブル依存症問題で苦しんでいる方や、支援に迷いを感じている支援者の方もいるかと思いますが、ぜひ、自助グループ及び民間支援団体の活動を知っていただく機会になればと思います。また、本冊子を通して、各機関、団体同士の連携が広まり、ギャンブル依存症の支援が発展していくことができたらと思います。

2022年1月末日
筑波大学 人間総合科学学術院
人間総合科学研究群
ヒューマン・ケア科学学位プログラム

博士課程 土方郁美



謝辞

本冊子『ギャンブル問題の当事者や家族への民間団体・自助活動の紹介』の作成にあたり、お忙しい中、多くの協力を得ました、信州大学医学部保健学科准教授 新井清美先生、全国の精神保健福祉センター、G A やギャマノンに継続的に参加されインタビューに答えてくれた方々に感謝いたします。

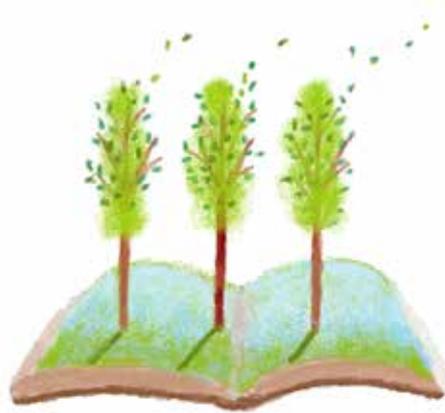
そして、本冊子の趣旨を理解し、アンケートにご協力いただき、各団体の貴重なご意見を聞かせてくださった民間団体の担当者の方々に心から感謝いたします。

本当にありがとうございました。

参考文献・URL

厚生労働省「全国の精神保健福祉センター一覧」
(<https://www.mhlw.go.jp/kokoro/support/mhcenter.html>)

監修	森田展彰 土方郁美
執筆・編集	森田展彰 土方郁美
デザイン・構成	田中千香子
イラスト	北爪美枝子
印刷社：株式会社	創都
発行所：筑波大学	社会精神保健学分野
問い合わせ	筑波大学 精神保健学分野 〒305-8577 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 総合研究棟 D743 室
連絡先	029-853-3099 (Tel/Fax)
E-mail	seishinhoken@md.tsukuba.ac.jp



ギャンブル問題の当事者や家族への民間団体・自助活動の紹介

2022年3月第二版発行

編集 筑波大学 医学医療系・准教授 森田展彰

筑波大学人間総合科学学術院

人間総合科学研究群 ヒューマン・ケア科学学位プログラム 土方郁美

連絡先 029-853-3099 (Tel/Fax)

この研究は厚生労働科学研究費補助金「ギャンブル等依存症の治療・家族支援に関する研究」(19GC1101)によって実施されています。

本誌において掲載されている内容の一部及びすべてについて、事前の許諾なく無断で複写、複製、転載することは、著作権侵害となるため禁止します。